



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人 カトリック福岡司教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-5139
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

1月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般の意向】養成の場としての家庭
【布教の意向】キリスト者の一致
【日本の教会の意向】中東の平和

2009年
年頭のご挨拶

司祭召命の育成が最大の優先課題



カトリック福岡教区の皆様
二〇〇九年の新しい歩みが
始まりました。年頭にあたり、
主イエスキリストによって、
父なる神様からの恵みと平和
が皆様の上に豊かにあります
ように、そして新しい一年が
聖霊に導かれた愛と平和の年
になりますように、お祈りい
たします。

派遣されました。その際、皆
様からはたくさんのお祈りや
ご支援を頂きました。改めて
心より感謝申し上げます。こ
れからも更に聖霊の導きと支
えに強められながら、皆さま
と共に、神が望まれる教会共
同体造りを目指して励んで行
きたいと思います。

司祭召命は優先課題

さて、福岡教区内に待ち構
えている課題は山積みです。
その中でも、早急に着手すべ
き緊急の課題として司祭評議
会から答申を頂いたのは、司
祭召命に対する取り組みで
す。司祭召命の育成が最大
の優先課題であることは誰に

最大の鍵は司祭団に

召命育成のために最大の鍵
を握るのは司祭団です。その
ために教会は各司祭に、「こ

主のご降誕と

新年のお慶びを申し上げます

教区長

宮原良治 司教

福岡地区

松井 忠之
田中 重治

司教館付

岩永 義人
渡辺 隆義
山下 正
糸島 英次
今村 岩崎 康彦
大楠 中村 信哉
大牟田・荒尾 下町 豊重
小郡 H・オカロール
久留米 浦川 務
三村 邦明
古賀 P・ジュード
古川 健一

とばの役務と自分の生活、奉
仕の精神と復活の真の喜びを
明らかに現す生活のあかしに
よって、司祭職の重要性と必
要性とを信者に理解させるよ
う心掛けて下さい」と要請し
ています（司祭の役務と生活
に関する教令・11）。

確かに、現代社会の中で司
祭が果たすべき務めはあまり
にも多岐に渡っていて、各種
の難問が山積みであることも
十分に承知しています。時に
は任務上の多くの義務に追い
回されて、自己分散の危機に
瀕することも希ではないこと
も理解しているつもりです。

「精一杯頑張つて働いてい
る者に、これ以上何を要求す
るのか」との声も聞こえて来
そうです。しかし、だからこ

そ、そこに司祭職の輝きを発
揮させる必要があります。

福岡教区における司祭召命
の育成の成果は、福岡教区司
祭団の真価のバロメーターで
あると言っても言い過ぎでは
ないでしょう。召命育成に関
して、これから福岡教区の司
祭団としての誇りを持ちたい
と思います。

母親の協力は力と恵み

更に、「召命の苗床」と呼
ばれる家庭にも呼びかけま
す。両親、特に母親は、自分
の息子が司祭職に招かれた
際、息子を喜んで神に捧げる
寛大さを持ち、その召命の旅
に喜んで協力して下さいませ
うにお願いします。

「あなたは女の中で祝福さ
れたかた。胎内のお子さまも
祝福されています」（ルカ・1・
42）との聖母マリアの祝福の
体験が、自分の人生の中で実
感として理解できるようにな
るはず（現代の司祭養成、
82参照）。

若者よ聴いて下さい

教皇様に倣い、「若い人た
ちにも呼びかけます。聖霊の
声にもっと素直になつて下さ
い。教会や人類の大きな期待
があなたがたの心の奥底で響
きますように。主キリスト
の招きに心を開くことをため
らつてはなりません。そして、
主の愛のまなざしを感じ、無
条件に従いなさいと呼びかけ
られたら、イエスに熱心に応
えて下さい」（現代の司祭養
成、82）。

実りには痛みのある
犠牲が伴う

教区民の皆様、今までのこ
とを繰り返すだけでは、現状
を超える変化は期待できませ
ん。これまでの召命育成に対
する皆様のお働きを高く評価
しつつ、引き続き更なるお祈
りと犠牲をお願い致します。
司祭召命の育成のために更
に何ができるか、何をしない
といけないか、個人で、家庭
で、小教区共同体で、各団体

で検討し、実践して下さい。
痛みを伴う犠牲が捧げられる
とき、意識と関心が生まれ、
その意識と関心は人を動かす
力になります。そこに祈りが
伴うときに、人の動きが神
に向かい、神への応答に導か
れます。幸いに、福岡教区で
は、家庭や教会で、また様々
な機会に、召命育成のための
お祈りが頻りに捧げられてい
ます。そのような熱心な祈り
と犠牲の繰り返しは努力が、
召命の実りと収穫のための豊
かな土壌になると確信してい
ます。これから司祭を目指そ
うとしている人々、現に神学
生として司祭を目指している
人々のためにもお祈り下さ
い。更に、現役の司祭のため
に、また現役を引退された司祭
のためにもお祈り下さい。これ
までの皆様のお働きに心から
感謝を申し上げますが、これ
からの皆様の更なる活躍の
上に、神様からの豊かな祝福
をお祈り致します。

カトリック福岡司教
ドミニコ宮原良治

美野島司牧センター
M・コース

浦 義孝
J・メデイナ
泉 類治
サン・スルピス司祭会
牧山 強美
大山 悟
高木 善行
Q・ベルナル
白浜 満
湯浅 俊治
熊川 幸徳
大神学院 嘉松 宏樹
聖パウロ修道会
永富 久雄
Br.小川 孝志
Br.田中 直
Br.七種 一一
御受難修道会
来住 英俊
鈴木 忠一
内山 恵一
B・ガブリエル
Br.鹿山 安広
司祭の家 山頭 原太郎

九州地区

飯塚 敏雄
黒崎・天神町 L・ベリオン
小倉 平田 敬
新田原 杉原 寛信
戸畑 中村 彰
直方・田川 寺浜 亮司
水巻 竹森 勇
門司 伊東 成晃
湯川 平田 三好
行橋 山元 眞
若松 鶴野 泰年
パリ外国宣教会北九州支部
M・レヌー

佐賀地区

伊万里 C・ガッツァルディ
鹿島・武雄 L・マネルバ
佐賀 深堀 勝人
多 久 A・テムペリーニ

熊本地区

帯山 川添 猛
菊池 最頼 巖流
健軍 青木 悟
崎津・大江 牧山 美好
島崎 D・マルケット
S・ダニエル
M・ダ・ロシヤ
手取 牧山 勝美
玉名 D・マルケット（管
理者）
人吉・八代
V・ヤングキャン
本渡 浦 俊雄
水俣 E・ホールガン
武蔵ヶ丘
真命山・霊性交流センター
F・ソットコルノラ



バチカンから送られてきた指
針によると、典礼において、
神の名を「ヤーウエ」ではな
く、「主」と発音するように
求めている。その理由は神聖
四文字の YHWH は、発音
してはならないというユダヤ
教の伝統、そしてそれを受け
継いだキリスト教の伝統を大
切にするというものである▲
私たちは特段何も考えること
なく「神」と使っているかも
しれないが、キリストンの時
代、聖書の神をどう表記する
かは、宣教師たちも大変苦勞
したようである。例えばザビ
エルは、最初「神」を「大日
」と呼んでいたが、その不適切
さに気づき、今度はラテン語
の「神」にあたる Deus を
そのまま表記して「デウス」
と呼び変えることにした。こ
れにより、日本古来の神々や
仏との相違は明らかになった
ものの、今度は「デウス」が「
イウス」と間違えられてしま
う▲その後、16世紀の後半に
はすでに「天主」の使用例が
認められるようであるが、カ
トリック教会では、最近まで
「天主」という言葉が使われ
ていた。しかし、1959年、
公教要理の改訂に伴い、カト
リック教会は正式に「神」と
を用いることとした▲このこ
とを鈴木範久氏は、「次第にカ
トリック教徒の間にも「天主
」と「神」との混同が見られ始
めていた結果でもあったが、
「天主」の言葉を保ち続ける
選択があつてもよかつたと思
われる」（聖書の日本語）と
言う。この他にも教会内だけ
で用いられている言葉が、現
代ではどのような意味にとら
れるか、また現代日本の社会
の中で適切かなど、再考して
みる必要があると思う。（M）

福者ペトロ岐部カスイと187同志殉教者祝日は毎年7月1日

わたしにとっての福者からのメッセージ

感動的な列福式を終えて一カ月あまりが経ちましたが、この大きな恵みを次の世代に受け継いでいくために私たちに求められていることは何か、福者たちは、私たちに何を語りかけておられるか、教区内の皆様にそれぞれのお立場からご寄稿いただきました。



信仰とはそんなものではない

「信仰とはそんなものではない」が、私のなかでずっとあります。

列福式に参加された

方は、殉教者についてそれぞれの思いをお持ちになったことでしょうか。式が執り行われている間、私は取調べ官の席にいた沢野忠庵とベトロ岐部神父のやりとりを反復していました。沢野忠庵とは、背教したフレイラ神父のことで、岐部神父が帰国した時の日本管区長代行でした。「ベトロ、カスイよ、たった一言『転ぶ』と言えよ。それで命は救われる。その後後悔することもあるかもしれない。出来てはならないか。」「冗談は言わないでほしい。信仰とはそんなものではない。」「ベトロ岐部は司祭になりたくて、ゴアからシルクロードを歩いて聖地エルサレムまで巡礼し、ローマの本部に直訴して司祭に叙階された人物です。岐部神父が命を賭けてかつての長上に言い放った

188殉教者という上着

天気予報では列福式当日は雨になりそう。レインコートを用意しなければ……。前日に近隣の四つの店を回り探した。サイズ等びつたし合うものはなし。

列福式当日、会場の司祭控え室で丁度いい大きさのレインコートが配られ、それを身に付けた。おかげで雨風が凌げた。

188殉教者たち、人生の根本的な雨風を凌ぐ上着を探し続けた人々であろう。そして「キリストへの思いだけは譲れない」(レオ税所七右衛門)あの気持ちは、ついに

殉教者が私に語りかける

新田原教会主任 杉原 寛信 神父

布の覆いが取り払われると、鳩の群れがパッと空へ舞い上がり、わたしの眼に福者たちの肖像画が飛び込んで来ました。天を仰ぐ人、祈っている人、子ども、老人、女の人、様々なその表情は、明るく美しいものでした。この日、この人たちはわたしに命をかけて愛しぬいた人々への憧れを呼び起こしました。

わたしが殉教の苦しみだけを見つめるなら、自分には殉教に至るほどの信仰はない：と言つて怯み、勇気を失うでしょう。彼らは確かに、想像を絶する痛みや苦難に耐えた人々です。けれども苦しみがあっても、どれほどの喜びに満たされていたことでしょうか。その顔の輝きに眼を留めるなら、必ずそこに弱さの中で働かれる神の御手を見つめるはず。それは人間を超えるところから来る、無限の愛からもたらされるものです。神の御手を信頼し信仰を貫

信仰という絆が守る家族と教会

修練者 岸 里実

福者たちが生きた時代の教会は、最も頼みとしていた宣教師たちは追放され、信徒自身で教会を守り、キリストの教えを伝えていかなければならいませんでした。激しい弾圧の中でも、彼らは揺らぐことのない信仰をもつて、家族や信徒同志の関わりを強めて、福音宣教の務めを果たしたのです。

この福者たちは今、地上の私たちをどのように眺めているのでしょうか。世界各地では、人種差別による殺戮やテロ、国内でも無差別殺人、食品偽装、暴力、いじめ等、自己中心的で悲惨な出来事が、毎日のように報道されています。今の私たちに欠けているもの、失われているものは、何でしょうか。それは人と人との「関わり」、信頼と対話によって「絆」を強めることだと思っています。

いつの時代にも、社会から無視された人、取り残された人はいまいます。かつて日本司教団が「二十一世紀へのメッ

セージ」で、「家族が揺らぐときは、いのちも、そして人生も揺らぎます。家族の危機は、いのちの危機である」と述べていました。

福者たちは迫害の中で、より強い家族と信徒の絆を私たちに示してくれたのです。彼らは現代に生きる私たちに、「家族」の在り方を、今一度見つめ直す機会を与えてくださったのではないかと思います。

西新教会信徒 岩崎 從子

『わっかもんウォーク』の証し

長崎の青年が主体となり列福式に向けて準備してきた「青年列福準備会」。全国の青年も一緒に、約一年間殉教というものに思いを寄せ、列福式に向けて様々な取り組みをしてきました。その最後の取り組みとなったのが、『わっかもんウォーク』と題した188殉教者列福記念徒歩巡礼。島原・有馬の地で「イエス様は十字架を担ぎカルワリオ山へ歩いて行きました。私も歩かせて下さい。」と力強く述べ、自分の十字架へ向かったといわれる少年デイエゴの意志。それに倣おうと全国から途中参加を含めおよそ60人の青年が歩きました。

コースは雲仙記念聖堂から列福式会場を目指すというもので全行程58kmという道のりの夜間徒歩巡礼。道中は十字架を担いだり、ロザリオの祈りを唱えたりと、殉教の地を巡りながらのかなり激しい足の痛みを伴う大変苦しい巡礼でした。しかし、歩きながら本当にいろんな事を考えさせられる素晴らしい巡礼体験ができました。また全ての青年が無事に到着でき、大きな喜びの中列福式に与る事が出来た事も最高のお恵みでした。

ちょっと一息



ガンパッテに代わる言葉がみつからぬ 坂牧春妙
機内食 ただ今 飢餓の国の上 深堀正平

「彼等こそが証し人 愛の証し人 彼等の灯した証し人を永遠に絶やさぬように」



彼等が実践されてきた純粋な「愛の証し」。「信仰」を深く心に留め、これから先を歩んでいきたいと思っています。

大名町教会信徒 豊嶋 玲

福者と共通の記憶を求めて

現代は、ある意味で恵まれた時代と言えます。聖書をはじめとする豊富な出版物、信教の自由……。その恵まれた環境の中で、カトリック信者の数は切支丹時代とあまり変わっていません。当時の信仰教育は、教義の解説や問答が

ルカの書いた使徒言行録によれば、回心後のサウロは、すぐダマスコで宣教したとある。だが、神の前でうそをついているのではないと断言したガラテア人の手紙のほうを真実とみる。それによると、回心後すぐ血肉に相談するようになったことはせず、またエルサレムに上って、私より先に使徒として召された人たちのもとに行くこともせず、アラビアに退いて、そこからダマスコに戻った。回心の三年後エルサレムに上り、ケファとヤコブに会ったとあ

宣教者パウロのシルコット④

る(ガラテア1・16・19)。私はエルサレムと対局にあるアラビアに、三年間もいたというところに大変興味を持つ。またステファノの殉教によって各地に散った信徒の町で、アンチオキアは特に盛んであった。エルサレムの教会は、そのため篤行の人バルナバをそちらに送った。バルナバがタルソにパウロを捜しに行き、共に丸一年をそこで宣教した。この地で弟子たちは、初めてキリスト者と言われるようになった。(使徒11・19・26) 森山 敬三 (大名町教会信徒)

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5

ミサ用ワイン



VINO DE MISA

スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは

有限会社 大楠酒店

ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号

電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

修道女のための8日間の黙想/指導：来住英俊

- ① 4月15日(水) 16:00受付から22日(水) 朝食後迄
- ② 6月 8日(月) 16:00受付から15日(月) 朝食後迄
- ③ 9月14日(月) 16:00受付から21日(月) 朝食後迄

カトリック福岡黙想の家

聖堂/洋個室(洗面トイレ付)/冷暖房/浴室シャワー室/障害者用トイレ/エレベーター

カトリック御受難修道会・宗像修道院

811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385

http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm



本との出会い 人との出会い 神との出会い

 セント・ポール
FUKUOKA

キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名 2-7-7 大名町かトリック教会 1F
平日 / AM 10時～PM 6時
日・祝日 / AM 11時～PM 4時 (水曜日定休日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL <http://www.pauline.or.jp>

それらはあなたの手の中で一つとなる

カトリック教会のカテキズム

日 時：2009年2月22日（日）15：00
場 所：カテドラル大名町教会
講 師：櫻井尚明神父（大名町教会主任）
参加費：1回 500円
資 料：カトリック教会のカテキズム

聖パウロに学ぶ神学講座

第3回 1月18日

〔使徒としてのパウロの心〕 最頼巖流神父
【時間・会場】
各回日曜日 13：30～16：00
会場：カトリック手取教会 信徒会館大ホール
【受講料】全6回＝5000円／1回＝1000円
【問合せ】手取教会（TEL 096-352-3030）岸
【主 催】熊本地区神学講座実行委員会

パウロが100倍わかる！

～パウロが伝える言葉力～

日 時：3月1日（日）受付 13：30
場 所：カトリック小倉教会
講 師：鈴木信一神父（聖パウロ修道会司祭）
参加費：500円
主 催：福岡教区聖書委員会
共 催：北九州地区信徒協聖書部会／
教会学校部会

聖パウロに学ぶ

召命の神秘を生きるパウロ

・わたしを母の胎内にあるときから召し出してくださった神（ガラテヤ1・15）・・
日 時：1月25日（日）14時
場 所：カトリック大名町教会
講 師：澤田豊成神父（聖パウロ修道会司祭）
参加費：500円
主 催：福岡教区聖書委員会

信仰と祈りの養成研修会

…若い女性信徒のため…

日 時：1月18日（日）15：00～18：00
場 所：カトリック大名町教会
講 話：井手公平神父（大名町教会司祭）
参加費：300円
主 催：川島キヨ子（使徒職の協力者）
問合せ先：鈴木美子（092-715-3606）

福岡教区広報室アドレス
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案 内 板

会合と催し

1月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 1月

◇17日(土) 北九州チェナクルム
2月の予定
◇3日(火)～8日(日) サン・スルピス選任前の黙想会
◇10日(火)～11日(水) 聖マリア在俗会黙想会
◇14日(土)～15日(日) 山口・島根信者養成研修会
◇23日(月)～26日(木) 九州説教者セミナー
＊毎週火曜日は「祈りの日」11:00ミサから15:00まで予約無しで参加できる日帰り黙想！皆さまどうぞいらしてください。
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 0932・3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/fmokusou/index.htm

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：聖パウロについて レクツィオ ディヴィーナ
・日 時：1月8日(木) 10時～15時半
・内 容：聖パウロの回心(使徒言行録9：1…)
指 導：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
ダニエレ サルツィ・サルトリ神父
園田善昭神父 / Sr. マリア デ・ジョルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
☎0968・85・3100 0968・85・3186 ・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：1月17日、2月7日 第1・第3土曜日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂
＊基本的に第1・第3土曜日。変更の場合もあります。

1日(木) 神の母聖マリア／世界平和の日 元旦
新年ミサ（カテドラル大名町教会10時）
†C. パスチ〔2002年黒崎教会〕
4日(日) 主の公現
糸島教会堅信式／墓地祝福式
5日(月) 教区邦人司祭新年会
8日(木) 常任司教委員会
召命祈願ミサ（大神学院19：30）
11日(日) 主の洗礼
浄水通教会公式訪問
北九州司祭団・信徒役員懇談会
12日(月) 聖心のウルスラ宣教女修道会誓願式 成人の日
13日(火) 司祭団新年の集いミサ
18日(日) 年間第2主日／鹿島教会公式訪問
キリスト教一致祈祷週間（～25日）
25日(日) 年間第3主日／「聖パウロの回心」のミサ
カトリック児童福祉の日（献金日）
佐賀教会公式訪問
26日(月) 司祭総会
27日(火) 司祭総会
†R. オーウェンス〔2007年菊池教会〕
31日(土) 聖ヨハネ・ボスコ司祭
†V. マクナリ〔2003年島崎教会〕
2月
1日(日) 年間第4主日
2日(月) 大神学院祭・閉校式
3日(火) 司祭評議会
＊ゴチック文字は、司教日程
＊司祭の命日は2000年以降からお載せしています。

福岡教区奉仕者選任式・助祭および司祭叙階式

◆祭壇奉仕者選任式◆

被選任者：
アシジのフランシスコ谷口尚志（大名町）
日 時：2月8日（日）13：00
場 所：カテドラル大名町カトリック教会
◆助祭および司祭叙階式◆
司祭叙階受階者：ヨゼフ十時伸治（小倉）
助祭叙階受階者：ルカ大塚了平（武蔵ヶ丘）
日時：2月11日（水）11時
場所：カテドラル大名町カトリック教会

福岡

◆福岡祈りの会
〔日時〕毎週月曜11時から12時30分〔場所〕大名町教会1階〔内容〕賛美と感謝の祈り・聖書の分ち合い〔代表〕Br 床嶋（問合せ先）☎092・521・2503 蓮尾
◆召命祈願ミサ
〔日時〕1月8日（木）19時30分〔場所〕サン・スルピス大神学院聖堂〔主式〕浦川務神父（カトリック久留米教会主任）
◆福岡ホスピスの会勉強会
〔日時〕1月11日（日）14時から〔場所〕カトリック大名町教会〔内容〕自宅で家族を看るといこと〔講師〕荒牧初子さん（福岡県看護協会訪問員）
◆福岡結婚準備講座
〔日時〕1月24日（土）18時半から毎週土曜日全5回〔場所〕カトリック大名町教会〔参加費〕カッブルで一万円〔参加条件〕結婚を決めている二人での参加〔問合せ先〕☎092・741・3687
◆虹の会
〔日時〕1月31日（土）13時半〔場所〕カトリック大名町教会3階〔内容〕子どもを亡くした親の悲嘆の分ち合いです〔参加費〕600円〔連絡先〕☎090・1162・639 柴田

看護ステーション「くるめ」所長（参加費）1000円（問合せ先）TEL 092・874・632

◆召命を共に祈る会

〔日時〕1月15日（木）〔場所〕召命の家（問合せ先）浦川務神父（教区召命担当司祭・久留米教会主任）
◆在セフランシスコ会集会
〔日時〕1月18日（日）14時から〔場所〕高宮フランシスコ会修道院在セ会集会所〔内容〕アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために、ミサと学習（指導）戸村悦夫神父（問合せ先）☎092・843・5831 岩崎

北九州

◆北九州召命を共に祈る会
〔日時〕1月15日（木）14時から16時〔場所〕カトリック小倉教会聖堂・信徒会館〔内容〕叙階式に向けての感謝のミサ・ミーティング〔司式〕伊東成晃神父（門司教会主任）〔問合せ先〕☎093・963・2359 江口
◆小倉祈りの集い
〔日時〕1月23日（金）13時半から15時〔場所〕カトリック小倉教会信徒会館2階〔指導〕ガブリエル神父（御受難修道会）〔内容〕『みことばを味わう』賛美と感謝の祈り〔連絡先〕☎090・3985・5209 松田裕子

佐賀

◆佐賀祈りの集い

〔日時〕1月14日（水）10時～11時30分〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕共に祈る（次回1月28日（水））毎月第2と第4水曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

◆カトリック看護協会福岡支部の集い
〔日時〕1月11日（日）14時30分から17時〔場所〕イエズスの聖心病院会議室〔問合せ先〕☎096・352・7181 Sr 竹内
◆熊本地区召命を共に祈る会

◆第50回典礼・聖歌研修会
〔日時〕3月1日（日）13時半から〔場所〕カトリック大楠教会〔内容〕主の復活を迎えるために〔講師〕深堀純氏（大名町教会信徒）〔参加費〕感謝金（問合せ先）☎092・541・3730 松山

◆美野島司牧センター

寒さが厳しくなってきました。毎週火曜日10時半から炊き出しボランティアにご協力をお願い致します。〔問合せ先〕☎092・431・1419 コース・マルセル神父

熱いスープの会ボランティア募集

とりわけ厳しい時期です。今年も大名町教会の冬場の炊き出しボランティアにご協力をお願い致します！
期間＝2月6日（金）～3月13日（金）毎週金曜日
時間＝14時：おにぎり・スープ作り
20時半：配布活動開始
集合場所＝カトリック大名町教会

編集後記

皆様に主のご降誕と新年のお慶びを申し上げます。この一年も皆様に支えられながら、より充実した紙面づくりを励みたくと思います。列福式後、この大きな喜びを今度は私たちが自身がさらなる実りとするのが求められています。そこで「福者からのメッセージ」と題して各方面から寄稿いただきました。皆様に感謝申し上げます。不況の嵐が吹き荒れ、大会社が数百人規模で解雇を迫る、そんな厳しい時代の中で、美野島司牧センターの聖堂には溢れるばかりのホームレスの方々。私たちキリスト者は、こんな社会の中で何が出来るのか、何を優先し、どう生きるべきか、飼いや葉桶の中でお生まれになった幼子イエス様は、静かに私たちに語りかけておられると思います。

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具 **コスモス**

〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ペトロ 平田 清

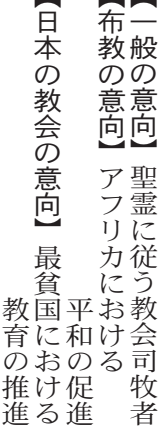


聖マリア病院

◆◆募集◆◆
＜医師＞＜看護婦＞
勤務時間：8時～18時 週休2日（土・日）
★がん診療連携拠点病院★
★入院患者科（一般科）★
TEL 0942-6666 福岡県早良区早良本町4-2-1
【ホームページ】http://www.st-mary-hospital.jp

天然素材の健康住宅
大地・海・山の恵みを取り入れ優れた素材をそのままディスプレイした住まいづくり
有限会社 **ナガシマ建築工房**
社長 ヨゼフ 長島哲夫
福岡市早良区飯倉8-10-17 TEL: 092-871-0063
【ナガシマ建築工房 福岡】

サンパウロ福岡宣教センター
パウロを知る本&DVD・絵
【08～09年6月閉年、特設コーナーあり】
1階 聖書・信心書・聖人伝・キリシタン関係・絵本・一般書等
2階 家庭祭壇・十字架・ロザリオ・ご像・ご絵・CD・DVD等
営業：10:00～18:00/四旬節中の日曜日・定休日＝日曜日・祭日・駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 TEL 092-721-2032



イスラエル・ガザ地区ではミサイルの応酬からとうとう戦車が出動し、地上戦へと投入した。何百人にも及ぶ死者のうち、子どもや女性の数は相当数に及ぶという。国連をはじめとする各国の努力によって一日も早い停戦を祈るのみである▲さて、年が明けて送られてきた天声人語は、アフガニスタンで銃弾に倒れた伊藤和也さんの母、順子さんの手記について触れている。「伊藤和也さんは、いつまでたっても享年31歳ですって。享年って何だ。我が子伊藤和也は今年32歳になり、来年は33歳になります。母の命ある限り、和也も母も歳を重ねていきます。」という文章が引用され、「一粒の麦が落ちて死ななければ・・・」という聖句が引かれていた▲世界人権宣言60周年にあたって昨年未発表された司教団メッセージは言う。「もし、個人企業、国家が利益追求だけに走り続けるならば、人間の尊厳は踏みじられ、一層暴力的で歪められた世界に陥っていきます。そこでは、人間の尊厳が蹂躪された結果、悲惨と絶望のうちにある犠牲者は容易に暴力に訴える誘惑に駆られ、犠牲者が平和の破壊者となるのです。」▲暴力は憎悪を生み、またさらに新たな暴力を生み出してきたことは、私たちの歴史が語っている。しかし、人類はそのことをなかなか学ぼうとしない。ガサ地区で、アフガニスタンで、そして世界の紛争地域において奪われていく無辜の命が、せめて新たな実を結ぶための一粒の麦となるよう、ひたすらに祈り、平和を求める人々が連帯して、大きな力となることを願う。(M)

日本カトリック神学院・福岡キャンパスが誕生



新しい時代の司祭養成へ

2008年度、福岡サン・スルピス大神学院は、創立60周年を迎えました。この間、数知れない多くのみなさまに支えられ愛されながら、司祭養成という使命を遂行してきました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。この大神学院で学び、司祭となった者は、260余人に及びます。しかしながら、2008年度末をもって、この福岡サン・スルピス大神学院はその歴史に幕を閉じ、閉校する運びとなりました。

そして、2009年4月1日、福岡の大神学院と東京カトリック神学院は合同し、新たに「日本カトリック神学院」が開校します。現在の福岡の大神学院の土地・建物は、「日本カトリック神学院・福岡キャンパス」となります。そのまま司祭養成の場として用いられます。ただし、哲学科2年間と神学科4年間の計6年間の司祭養成のコースのうち、哲学2年間と神学科4年生つまり助祭の養成の3年間は、現在の東京カトリック神学院（日本カトリック神学院・東京キャンパス）にて

ります。そして何よりこれまで異なった養成を受けてきた神学生たちの間にも、戸惑いや混乱が生じるでしょう。神学院の制度や養成内容が刷新され、そこからよりよい司祭が輩出されるかどうかは、司教団や神学院スタッフだけでなく、修道者や信徒、日本の教会全体のこれからの、そして永遠の課題であります。主の教会の発展のために、新しい神学院がその使命を忠実に果たし続けることができるよう、主の助けを祈り求め、与えられる恵みに信頼し感謝しながら、希望をもって「日本カトリック神学院」号の船出に臨みます。

サン・スルピス大神学院卒業最後の司祭



インタビューに応える十時伸治神学生

ている事は？

なお、現在福岡の大神学院で行われている召命祈願ミサ、召命の集いなどはそのまま継続して行われます。みなさまの多数のご参加をお待ちしております。また、神学生たちの宣教・司牧実習も神学院近隣の小教区のみならず、ご協力を得て、引き続き行われます。福岡教区のみならずをはじめ、多くのみなさまのこれからも変わらぬ、またより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。暖かく、また厳しいまなざしで新神学院をお見守りください。福岡サン・スルピス大神学院 院長 牧山強美

神が必要な恵みをもたらしにくさる

Q チョコレートとそば。十時さんどんな司祭になりたいですか？
A 人との交わりを大切にする司祭。多くの人々のお陰、そのつながりで自分が育ってきたので。またそのつながりがまた新しい人を育てていくと思います。
Q 海外での体験は？
A 2000年の大聖年、ローマで開催されたワールド・ユースデイがとても心に残っています。数百万ほどの青年が世界中からローマに集まったのですが、これほど青年がいることに感動しました。また、それぞれ悩みや苦しみを抱えていて、単なるお祭りではない、国が違っても一つの共同体であり、それを結び付けているのがイエス様だと実感しました。
Q 好きな聖句
A 「隣人を愛しなさい」。
Q 尊敬する人物は？
A 両親です。（即答）
Q 趣味
A サッカーとマラソン。
Q やつてみたいこと
A 分かち合いのできるまた、対話のある共同体を作りたい。また、家族的な教会を目指したい。また、ゆるし合える共同体づくりをしたい。
Q 尊敬する両親に一言
A 月並みですが「いままで育ててくれてありがとう」。
Q 教区民に対して
A 「不束者ですが、暖かい目で見守ってください。いっしょに暖かい教会をつくっていきましょう」。

く、大神学校予科も設立され、大神学校の創立もそう遠くないと思われた。しかし、時はちやうど日本の社会を黒雲が覆い始めた時と重なり、やがてカナダ人を含む外国人宣教師の多くが抑留され、神学生も軍隊召集や工場労働などで

彼らは、ヤコブのもとからある人びとが来るまでは、異邦人と一緒に食事をしてるのに、彼らがやって来ると、割礼を受けている者たちを恐れてしりこみし、身を引こうとした。それにならって他のユダヤ人もこれと同じようなことをし、バルナバさえもそれを行なったので、パウロはペトロの面前でこれを叱責した、アンチオキヤ事件である。（ガラテヤ2・11〜14）。

宣教者パウロのシルエット⑤

（大名町教会信徒・福岡サン・スルピス大神学院講師）

裁判員おしゃべりだけいいですか 隙だらけの背中で帰る家がある 坂牧春妙 深堀正平

ちょっと一息



裁判員おしゃべりだけいいですか 隙だらけの背中で帰る家がある 坂牧春妙 深堀正平

修道女のための8日間の黙想／指導：来住英俊

- ① 4月15日（水）16:00受付から22日（水）朝食後迄
- ② 6月 8日（月）16:00受付から15日（月）朝食後迄
- ③ 9月14日（月）16:00受付から21日（月）朝食後迄

カトリック福岡黙想の家

聖堂／洋個室（洗面トイレ付）／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道士会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm



ミサ用ワイン

ヴィノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ（赤）（白）

ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 [SOU-EN]

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

聖心のウルスラ宣教女修道会 初誓願式



両親の顔を灯火に手に誓願式に臨む Sr.岸

1月12日、福岡市南区塩原に日本の本部修道院を持つ、聖心のウルスラ宣教女修道会(管区長Sr.西川千恵子)で岸里美さんの初誓願式が行われた。雪混じりの寒い朝、彼女の出身地京都教区の久居教会から、ご両親始め親族や友人が大勢来福。また、各地の修道院から駆けつけた会員のシスター方、近隣の教会の信徒、友人や青年会の有志などが聖堂を満員にして初誓願ミサが行われた。

近頃の若いモンは

—青年による青年事情通信—

ルカ大塚了平神学生訪問



大塚了平神学生

2月11日(水)に助祭叙階を受ける予定のルカ大塚了平神学生に現在の心境などを語っていただきました。
Q1 助祭のお恵みを頂く直前の心境は?
：とにかく喜びと感謝で

「一致」と言い表し得ないほどの快活さ」が本会の特徴という、殉教者聖ウルスラを守護者と仰ぐこの修道会は、創立の当初からイエズス会のイグナチオ的霊性の流れの中で、祈りと活動の一つのものとして教育事業、要理研究、福祉事業などに従事しながら観想する修道会である。

1952年2月5日に中国を追放された4人のイタリヤ人のシスターが、多くの犠牲のうちに日本での最初の土台を福岡の地に据え、宮崎、三重、東京と発展してきた。福岡教区では現在地に本部修道院、福岡修道院、修練院などがあり、聖心ウルスラ幼稚園を運営している。宮原良治司教司式のミサには久居教会の主任司祭、イエズス会、福岡教区司祭などの共同司式の中で厳粛な初誓願ミサが行われた。司教は、「娘を拉致されたお気持ちではな

一致祈禱の集い

日本基督教団中部教会 福岡



祈りの集いの後、ロビーで親しく一致

1月18日(日)、福岡市中央区にある日本基督教団中部教会で2009年のキリスト教一致祈禱集会が行われた。今年のテーマは「それらはあなたの手の中で一つになる」。韓国の呼びかけで決められたテーマである。今年の

Q5 今読みかけの本のタイトルは?

：マルクス・アウレリウス『自省録』(岩波文庫) 福岡伸一『生物と無生物のあいだ』(講談社現代新書) アルフレッド・ペスター『虎よ、虎よ!』(ハヤカワ文庫SF)。

Q6 何か皆さんへメッセージを

：いつもお祈りいただき、本当にありがとうございます。これから、皆様と一緒に過ごす時間がもっと増えていくと思いますので、どうぞよろしく願います。

◆2月8日(日) 13時から谷口尚志さんの祭壇奉仕者選任式 ◆2月11日(水) 11時から10時神治助祭の司祭叙階式と大塚了平さんの助祭叙階式がカテドラルで行われます。参加しましょう。

会場を幼稚園へ移しての祝賀会は、Sr.マリア・テレジア岸里実を囲み、優しさと快活な笑いに溢れ「この修道会らしい」と参加者が表現するほど明るい式典となった。

うと結んだ。続いて、各宗派の代表が祈りに立ち、世界中で起こっている宗派間の対立、ガザやイスラエルに平和を祈った。祈りの集いの後、ロビーでの茶話会で参加者の一人は、

「キリスト教一致と聞くとそれぞれの宗派がその独自性を失くすことだと考えていたが、祈る方法など違っていても同じキリスト、同じ神を信じる者達なのだと思うと、その違いはユニークと考えていいのではないかと思った。むしろ、平和への行動とか人権や環境問題など一致した行動ができる環境を作る方がいいのではないかと感じた。」と語った。

『ある日の訪船』



博多港箱崎埠頭に停泊中の穀物運搬船(20人のフィリピン人乗組員)の船を訪問しました。その日は船の周りがすこしあたたかく、船員に聞いたら、今からミサが始まる所だと言うことでした。それで一瞬誰かが来ているのかと思って中に入ってみると箱崎教会のミッシェル神父様でした。いまから昨日船の中で脳卒中で急死した機関士長の弔いのミサをするためですと言われたので、私もこれは神様の引き合わせと思い一緒にミサに参加しました。食堂を白いシートで飾り、葬儀の雰囲気、船長以下、参加できる船員は皆参加していました。霧、霧気は大変、悲しく、重い感じでした。

故人は年は66歳、仕事のストレスと健康障害から自分の事務室で急に倒れて、発見まで丸1日あったそうです。その

うと結んだ。

続いて、各宗派の代表が祈りに立ち、世界中で起こっている宗派間の対立、ガザやイスラエルに平和を祈った。祈りの集いの後、ロビーでの茶話会で参加者の一人は、

「キリスト教一致と聞くとそれぞれの宗派がその独自性を失くすことだと考えていたが、祈る方法など違っていても同じキリスト、同じ神を信じる者達なのだと思うと、その違いはユニークと考えていいのではないかと思った。むしろ、平和への行動とか人権や環境問題など一致した行動ができる環境を作る方がいいのではないかと感じた。」と語った。

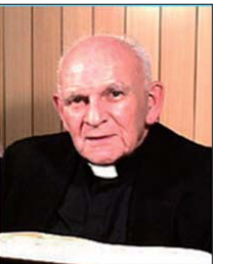
J・ハヤット神父帰天

1月14日(水)、「心のともしびYBU(善き牧者の運

日本カトリック難民移住移動者委員会 船員司牧

してすぐに近くの九大病院に運ばれたが亡くなったとのことでした。現在遺体は大学の安置室で神戸の領事館員の人によって封印されて、そのままフィリピンに空輸されることとです。ミッシェル神父と私は、ミサ後に特に彼が倒れていた部屋や機関室など聖水をかけて清めて下船するとき、彼の荷物のダンボール数個と一緒に運びだされたときは、大変空しい気持ちで一杯でした。また、持参したロザリオをみんなが喜んで貰うのを見て大変嬉しく感じました。ロザリオがこんなに喜ばれるとは思いませんでした。彼等は祈りの必要性を十分に痛感したと思います。船員司牧で、穀物船の訪船は大変な苦労があります。それは仕事では穀物の粉がそこら中飛び回り、手ぬぐいでマスクをしないと息ができません。大変なものです。その間を抜けて船に乗り込まな

うと結んだ。



J・ハヤット神父

動」の創立者であり、東京教区司祭のジェームス・ハヤット神父が肺炎のため帰天。享年86歳。1952年からこの運動を始められ半世紀以上をメディアを通して宣教に尽くされた。信徒、未信徒を問わず、多くの人々がラジオ、やがてTVも通して「心のともしび」を知ることになる功績は大きい。

Sr.カタリナ山口ソメ帰天

聖母訪問会のSr.カタリナ山口ソメは、1月19日、脳梗塞のために新田原修道院で帰天。享年96歳。修道者として74年の生涯を捧げた。

日本カトリック難民移住移動者委員会 船員司牧

ければなりません。また機関室など一番騒音がひどいところで生活している船員は、静かにやすむことも出来ず、すぐにでも難聴になりそうな過酷な条件で働いているのだなと思えば、たとえ仕事や家庭のためとは言え、彼等が皆日本経済のために安価な賃金で働かされている状態に、怒りがこみ上げてきます。そして一人の司牧者として何か彼等にしてあげられるものはないかと反省させられる日でした。

1度も会ったこともなく、また他国の人の死はそれほど身近なものと思われませんが、危険と隣り合わせで働く船員によって日本の経済が成り立っていることを考えると、1隻でも多く訪船してこそでも恩返しができるのではないかと「船員のための祈り」をして下船しました。山口正美神父(笹丘教会)



☆イエスさまのお話 クリスティナ・グディングス

ジャン・ルイス 女子パウロ会



その絵の合意の色

の説明が入り子どもたちの理解を助けてくれます。また各ページの登場人物の名前や各項のポイントのミニ解説が書かれていて、物語だけでなく関連することからも学ぶことが出来ます。小学低学年から読める本です。

女子パウロ会 発行 税込定価 1575円

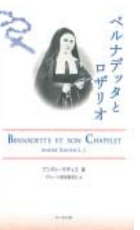
☆ルカ福音書を読む 同伴者イエス

京都教区聖書委員会 聖書講座シリーズ6

サブタイトルは「同伴者イエス」。私たちの方からではなく、「イエスが私たちに近づいてくださり、歩みを共にしてくださる」ということを主眼に6人の講師が語る。サンパウロ社 発行 税込定価 1470円

☆ベルナデッタとロザリオ

アンドレ・ラヴィエ 著 ヌヴェール愛徳修道会 訳



祈りだの

ルルドの貧しい少女ベルナデッタに、聖母マリアは罪人である私たちを極みまで愛された御子イエスの愛と、御父のいつくしみを教えられた。ドン・ボスコ社 発行 税込定価 1050円

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.inuka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール
FUKUOKA
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時~PM 5時40分
日・祝日/AM 11時~PM 4時(水曜日定休日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: http://www.pauline.or.jp



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人 カトリック福岡司教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-5139
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

4月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】農民と世界の飢餓
【宣教】貧しい者の希望のしるしである
キリスト者
【日本の教会】神のいつくしみをあかしする

新しく迎える兄弟姉妹とともに



洗礼願者を共同体に迎えて、私たちも信仰の恵み、洗礼の恵みの喜びとともにする時でもあります。

だが、ともしれば、今度洗礼を受ける方々の名前も顔も知らないということが往々にしてあります。家族は、新しい生命が誕生するという知らせを受けたなら、名前は何にしようか、衣類をどうするか等、彼（彼女）を迎えるために準備を始めることでしよう。同様に私たちも神の家族に新しいメンバーを迎えるのですから、その準備を大切にしたいものです。

洗礼の恵みは、単に受洗者とキリストの関係だけではありません。あくまで「教会共同体は、受洗者が受ける恵みを開花させ、固く守ることを助ける責任の一端を担います」（カテキズム1256）とあるように、求道者の養成は決して司祭だけに限られたものではなく、カテキスタをはじめ、共同体全体に関わることなのです。

四旬節

神の家族として共に育ちあうとき

皆さんは、どのような四旬節をお過ごしでしょうか。新しく教会のメンバーとなる方々と共に歩んでおられますか。折っておられますか。四旬節は、洗

し、キリストという真の偉大な希望に信頼するよう若者たちに呼びかけている。

「希望」は人間の生活、またキリスト者の使命の中心にある問題であり、特に現代社会において非常に必要とされている。

悩む時期であり、希望の火を常に心に保つことが必要と述べている。

律法を熱心に遵守し、キリストの弟子たちを敵として容赦なく迫害していた若者パウロが、ダマスコ途上での回心の後、キリストの証人・宣教者として生きるようになり、「わたしたちは生ける神に希望をおいている」と言うまでになったのは、イエス・キリストの中に会った神の愛に内側から変容されたためであると述べた。

イエスはある日、若きパウロにお会いになったように、皆さん一人ひとりに会うことを望んでおられると述べた教皇は、祈り、み言葉、典礼を通してキリストに近づき、キリストによって養われた信仰と希望と愛を、聖パウロ、そして希望の母聖マリアに倣いながら自分自身の生活を通して人々に証ししていくよう、若い信者たちに願われた。

世界青年の日はカトリックの若者の祭典で、毎年「受難の主日」（枝の主日ともいう）に教区レベルで、さらに毎2〜3年の間隔で世界レベルの大会が記念される。昨年のシドニー大会から、2011年のマドリッド大会へ向けての歩みの中で、今年の世界青年の日は「わたしたちは生ける神に希望をおいている」（1テモテ4・10）をテーマに、教区レベルで行われる。教皇はこのメッセージを通

ているものと教皇は指摘。すべての人が希望を必要とする中で、特に青年期は、未来への理想や計画を育てる一方で、自分の存在の意味、幸福や苦しみ、生や死について自問し、学業や就職の問題、家族や友人との関係の構築に

は、皆が渴望する大きな希望を与えることはできないとし、その偉大な揺るがぬ希望とは神以外にあり得ないと強調している。

こうした中で、「希望の証人」として教皇は使徒聖パウロの生き方を提示。モーゼの

と違って、クリスチャンはこれの中で10人か20人のはずです。」「え、本当ですか？でも、どの子も、まじめに祈っているじゃないですか。」「親御さんが承知でよこしてくださるので、神様がおいでになるという前提で、こういう習慣をつけることには問題ありません。」「いやあ、驚いた。こういうことができるんだ。」「日本は非キリスト教国ですが、一般の日本人は宗教心があるし、良識的な宗教へは好感を持っています。今の混乱した価値観の社会で、確信ある宗教教育は、喜ばれるんです。」「シスター！これはまさに、福音宣教のすばらしいチャンスだ。」「はい、私も

そう思っています。子どもたちの一生に、ある程度消えない価値観を残すことになるのですもの。不謹慎に聞こえるかも知れませんが、これは一種のトロール漁業でしょ。もちろん、すべてが何でも好調という訳ではありませんが。」「それに、小学校、中高、大学となると、また別の問題もあるだろうしね。その辺も知りたいな。」「では、あちらでコーヒーでもお淹れしましてから、またお話を続けませんか。」

シスター 今泉ヒナ子（コングレガシオン・ド・ノートルダム 会員）

2月16日、韓国金寿煥枢機卿が帰天された。金枢機卿は、軍部による独裁政権に抵抗し、韓国の民主主義発展のため献身し、カトリック信者のみならず、自由を求めるすべての人々に尊敬された人物であった。▲今からちょうど20年前、韓国で聖体大会が開催された時の演説を読み返した。「ミサは私たちに救いの歴史を思いださせ、イエスの過越しの旅に加わらせるのです。こうして私たちは、救いの共通の記憶、つまりあがないと共通の過去を持つものとして結び合わされました」。枢機卿は、演説冒頭で、私たちキリスト者が共有している「共通の記憶」について述べておられる。すなわち、カルワリオにおける出来事と、現代社会で生起する出来事はミサという共通の記憶、記念を行うことによって結び合わされ、統合されるという。枢機卿は、意見や考え方を異にする人々、あるいは過去と現在を結びつける原動力としての聖体の価値を説いておられる。▲さて、今年も主の過越しを記念する日が近づいた。私たちの教会、私たちの信仰生活の源泉はどこにあるだろうか。もしそれが人間的な部分にのみ置かれていたのであれば、「古い自分をキリストとともに十字架につけ」（ローマ6・6）、キリストとともに新しいいのちをいただこう。そして聖体を中心にして、私たちの教区、対立する世界の国々、異なる宗教や思想を持つ人々の一致を祈ろう。（M）

司祭人事

＊新任地・担当Ⅱ名前（前任地）
○3月8日付
＊人吉教会主任Ⅱマイケル・オフアレル神父（聖コロンバ人会；日本管区本部）
○3月31日付
＊大名町教会協働司祭・西新カトリック幼稚園副園長兼任Ⅱ十時伸治神父（新司祭）
○4月5日付

＊浄水通教会主任Ⅱリチャード・ジゼフスキー神父（神言修道会；サバティカル）
＊唐津教会主任・松島教会担当・唐津カトリック幼稚園園長Ⅱスタニスワフ・ポウオムスキ神父（神言修道会；秋田教会主任）
○4月19日付
＊呼子教会・馬渡島教会主任兼任Ⅱ浦俊雄神父（本渡教会主任）＊水巻教会・黒崎教会主任兼任Ⅱ竹森勇神父（水巻教会主任）＊大名町教会・光丘教会主任兼任Ⅱ櫻井尚明神父（大名町教会主任）＊戸畑教会・天神町教会主任兼任Ⅱ中村彰神父（戸畑教会主任）
＊大楠教会・老司教会主任兼任Ⅱ中村信哉神父（大楠教会主任）＊大江教会・崎津教会・本渡教会主任兼任Ⅱ牧山美好神父（大江・崎津教会主任）
＊大江教会・崎津教会・本渡教会協働司祭Ⅱ井手公平神父（大名町教会助任）＊大名町教会協働助祭Ⅱ大塚了平助祭

◆修道会・その他施設
○4月1日付
＊日本カトリック神学院福岡キャンパス養成者Ⅱ中村吾郎

神父（日本カトリック神学院福岡キャンパス養成者）
＊イエズス会福岡修道院副院長・泰星学園理事長Ⅱ外川直見神父（イエズス会；長束修道院・広島学院）

日本カトリック社会
司教委員会がシンポ
ジウムを開催Ⅱ福岡

3司教メッセージ『人権』を熱く語る
テーマ
足もとからの人権

3月14日、日本カトリック社会司教委員会（委員長Ⅱ高見
三司教）の主催でシンポジウムがカトリック大名町教会
で開催された。テーマは「足もとからの人権」。これは、昨
年出された司教団メッセージ「すべての人の人権を大切に」
を受けたもの。シンポジウムは、高見三司教（長崎教区）、
松浦信司司教（大阪教区）、谷大司教（さいたま教区）の
3人の司教が、2000人の参加者を前にそれぞれ人権への思
いを語り、会場との質疑が活発に行われた。



高見大司教は挨拶の中で、
教会内外にいろいろな人権侵

害がおこっており、教会の中
で人権意識を高め、深め、広
めていく必要があるとの思
いからこのメッセージ作成は
スタートしたと話した。次に、
Sr.石川治子（社会司教委員会
秘書）が、世界人権宣言の成
り立ちを説明し、司教団メッ
セージを読み上げ、つづいて、
宮原良治司教の司会でシンポ
ジウムへと移った。

一番目は高見大司教。「教
会の現実から見えてきたこと
：信仰と人権のつながり」を
テーマに旧約時代にも人権



高見大司教は「人権」を熱く語る
高見三司教（長崎教区）

とは出来ないとの立場から、
足もと（教会）の人権を中心
に話した。
先ず大阪教区での部落問題
に関するアンケートをもと
に、教会の人権意識が一般市
民と同等もしくは低い方であ
ることを明らかにした。また



松浦信司司教（大阪教区）

配と特権という司祭・信徒の
力関係 ②密室の点 ③位階
制度や女性差別の点 ④性的
被害者が声を出しにくい、な
どがあるのではないかと述べ
た。そして、被害が問題解決
につながっていないのは「加
害者を許せない自分自身をせ
める」といった教会特有の体
質が原因の一つとなっている
傾向が浮かび上がっている
と語った。

これらは、教会自身の福音
化が課題であり、現実と信仰
の遊離を克服すること。社会
に生きる私たちが、目の前の
問題に勇気を持って踏み込む
ことが信仰を生きることであ
る、と力強く結んだ。

三番目の谷司教は、ハンセ
ン病問題から、教会が人権に
うとい点を鋭く指摘した。
らい予防法が廃止された
時、回復者から「教会は私た
ちに早くから関わってくれ
たが、やっと人間として認
められた時に共に喜んでく
る」(22節)と表現していま
す。では、教会が「神の民」、
「キリストの体」と呼ばれる
にふさわしい共同体であるた
めに、司祭が果たすべき務め
を、一言で表現するとどうな
るでしょう。教会の専従職員
でしょうか？秘跡の執行者で
しょうか？生き方そのもので
感化を与える人でしょうか？
宣教の先頭に立つ人でしょうか？
か？あなたなら、どう言いま
すか。

御受難修道会宗像修道院長



教会共同体を考える
イザヤ 来住 英俊

(1)司祭の「務め」
とは何か？

使徒言行録1章に、イスカ
リオテのユダが十二使徒から
脱落したので補充するという
話があります。「その務めは、
ほかの人が引き受けるがよい」
(20節)。ここにある考え
の順序は、まず果たされるべ
き「務め」があり、それを果
たす人がいない。だから、
それを引き受ける人が必要だ
というものです。「司祭召命

の育成」を考えるにあたって
も、この順序が大切です。
司祭になるべき（神が呼ん
でおられる）青年がいるか、
あるいは、私は司祭になるよ
うに呼ばれているのか、とい
う問いが最初にあるのではあ
りません。司祭と呼ばれる人
が果たすことを期待されてい
る「務め」は何か、という問
いが最初にあるべきです。

「神が呼ばれた」と言いま
すが、実際に呼びかけるのは
教会共同体（神の民）です。
教会は「キリストの体」です
から、それを、「神が呼ばれた
」と言ってもいいのです。

教会共同体は、司祭に期待
している務めを自分で明確に
できないままに、青年をその
職に招くことができるでしょ
うか。それでは、「独身で教
会のために働いてくれる、い
い青年はいないかなあ」とい
う漠然とした呼びかけになっ
てしまいます。

「ここにこういう「務め」
がある。もちろん容易な仕事
ではない。独身であることも
要求されるし、一般社会では
認められないだろう。しかし、
キリスト者として、男一匹生
涯を賭けるに値する仕事だ。
どうだ、やってみないか」と
こちらが気合をこめて呼びか
けたいものです。

使徒言行録は、使徒の務
めを「主の復活の証人にな
る」(22節)と表現していま
す。では、教会が「神の民」、
「キリストの体」と呼ばれる
にふさわしい共同体であるた
めに、司祭が果たすべき務め
を、一言で表現するとどうな
るでしょう。教会の専従職員
でしょうか？秘跡の執行者で
しょうか？生き方そのもので
感化を与える人でしょうか？
宣教の先頭に立つ人でしょうか？
か？あなたなら、どう言いま
すか。

御受難修道会宗像修道院長

御受難修道会宗像修道院長

紹介
「虹の会」について

虹の会は病氣や事故その他の
理由で大切な子どもを亡く
した親（家族）の会です。人
生にもう一度「こんにちは」
をモットーに試行錯誤しなが
ら、10年前に発足した社会一
般に向けた自助グループで
す。年6回の定例会、その内
1回は能古島への「青空のも
とで泣いて笑おう」と遠足も
ニューズレターは年3回発行
しています。愛する人、特に
子どもを喪くすことは、やり
場のない悲しみ、抑鬱、怒り、
恨み、罪悪感や後悔、不安か
らくる不眠、集中力低下、引
きこもり、特に身近な人との
トラブルと断絶、子どもの死
が理由なのに精神科に逃げ込
むことも少なくありません。

信仰でケリをつけられない
親の悲嘆、しかし信仰心や宗
教を持つ人とそうでない人の
喪失感からの立ち上がりには
大きな違いがあることも確か
です。闇から光へ越えるため
の、人間の力を越えた死生観
をしっかりとつかむことは、
今後の大きな支えとなるで
しょう。この数年前よりカト
リック大名町教会を会場に、
虹の会を開催出来ることは、
大きな道しるべになるのでは
と期待してやみません。

柴田須磨子（西新教会信徒）

第三回伝道旅行も第二
回と大体同じ
旅程である。
ただ往きには
エフエソに二
年滞在したの
に、帰りの航
路ではトロア
スからミレト
に行つて、そ
こでエフエソ
の長老たちを
集めて話した。そして

宣教師パトリックの
レポート⑦

日記帳二重帳簿になっている
上澄みより澱みにほんとの人間味

坂牧春妙
深堀正平

参加者募集中！ 来住神父の奉獻生活者のための黙想会

カトリック福岡黙想の家

ミサ用ワイン
VINO DE MISA
スイートタイプ (赤) (白)
ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

これからも新しい会長のもと、福岡教区信徒協が神様の豊かなお恵みの中で、司教様・担当司祭のお導きをいただきながら、信徒の皆様を支えられ、益々発展することを期待しております。

佐賀信徒協会長 牧山 勵

BOOK
讀物專科

キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名 2-7-7 大名町カトリック教会 1F
平日／AM 10 時～PM 5 時 40 分
日・祝日／AM 11 時～PM 4 時（水曜日定休日）
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: <http://www.pauline.or.jp>

み国が来ますように！

カトリック教会のカテキズム

日時：2009年5月24日（日）15：00
場所：カテドラル大名町教会
講師：櫻井尚明神父（大名町教会主任）
参加費：1回 500円
資料：カトリック教会のカテキズム

聖パウロに学ぶ神学講座

第5回 4月16日 13：30～16：00
〔三位一体の神〕青木 悟 神父
【会場】カトリック手取教会 信徒会館大ホール
【問合せ】手取教会（TEL 096-352-3030）岸
【主催】熊本地区神学講座実行委員会

第48回 クルシリヨ開催

日時：5月2日（土）20時～5日（火）15時
場所：カトリック福岡黙想の家
指導：伊東成晃神父（門司教会主任）
主催：カトリック福岡教区クルシリヨ事務局
＊最終日13時30分より、宮原司教司式ミサ予定
問合せ先：TEL 093-592-0316（戸畑教会 徳永）

「聖霊による信仰生活刷新」セミナー

- | | | |
|---------|-------------------|--------|
| ① 4月20日 | 神の愛 | マッケイ師 |
| ② 4月27日 | 救いのみわざ | 森山信三師 |
| ③ 5月4日 | 新しい命 | 井手公平師 |
| ④ 5月11日 | 聖霊の満たしを受けるために（回心） | オカロール師 |
| ⑤ 5月18日 | 聖霊の満たし | ガブリエル師 |
| ⑥ 5月25日 | 聖霊のうちの成長 | マッケイ師 |
| ⑦ 6月1日 | キリストへの変容～派遣ミサ | 寺浜亮司師 |
- 宮原良治司教と司祭方

会場：カトリック大名町教会
期：4月20日（月）～6月1日（月）
時間：10：30～12：30（受付10：00）
参加費：自由献金・初回のみテキスト代
主催：聖霊による刷新・福岡祈りの集い
問合せ：Br. 床島藤吾 TEL 080-1737-6130

米沢の殉教者列福祈念式典と東北巡礼

日時：5月13日（水）～16日（土）
主催：阪急交通社
同行司祭：硫黄隆二神父（吉塚教会主任）
申込：阪急交通社（TEL 03-6745-7377）
締切：4月22日／福岡発着：133,000円
＊1629年、米沢の北山原などで53人の信者が殉教しました。純粋で堅固な信仰、家族の絆を感じる巡礼の旅にご案内します。

5月3日は津和野乙女峠まつり

福岡教区広報室アドレス
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案内板

会合と催し

4月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 4月

- ◇5日（日）ルカ福音書による受難の朗詠
（20時より／鈴木忠一神父）
◇6日（月）レクティオディヴィナ（指導：来住英俊神父）
◇15日（水）奉獻生活者のための黙想会（参加者募集中）
16時受付～22日（水）9時まで（指導：来住英俊神父）
◇22日（水）福岡チェナクルム
◇25日（土）～5月1日（金）
キリスト者のための内観黙想（参加者募集中）
◇26日（日）紫苑com. スピリチュアルケア研修会
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 ㊦32・3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/fmokusou/index.htm

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

- ※祈りの集い
年間テーマ：聖パウロについて レクティオ ディヴィーナ
・日 時：4月23日（木）10時～15時半
・内 容：聖パウロのアテネにおける宣教
（使徒言行録17：16…）
指 導：フランコ・ソットコルノラ神父（真命山院長）
ダニエレ サルツィ・サルトリ神父
園田善昭神父 / Sr. マリア デ・ジョルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
☎0968・85・3100 ㊦0968・85・3186 ・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：4月18日、5月2日 第1・第3土曜日10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂
＊基本的に第1・第3土曜日。変更の場合もあります。

- 3日（金）日本カトリック神学院福岡キャンパス開校記念ミサ
↑A.アレグリーニ〔2006年ロザリオの園〕
4日（土）↑黒川博〔2002年大牟田教会〕
5日（日）枝の主日
6日（月）長崎カトリック神学院入学式
7日（火）聖香油ミサ（カテドラル大名町教会15時）
9日（木）主の晩餐ミサ（カテドラル大名町教会19時）
10日（金）聖金曜日（大斎・小斎）
受難の典礼（カテドラル大名町教会19時）
復活徹夜ミサ（カテドラル大名町教会19時）
12日（日）復活の主日
浄水通教会主任司祭就任式
13日（月）福岡地区司祭集会（大名町教会11時）
ダルク・司祭団ソフトボール試合
16日（木）召命祈願ミサ（大神学校19時半）
17日（金）召命を共に祈る会・講話（手取教会20時）
18日（土）召命を共に祈る会・ミサ（手取教会6時）
ブレ・セミナリストの集い 16時
19日（日）復活節第2主日（神のいつくしみの主日）
馬渡島・呼子教会主任司祭就任式
25日（土）聖マルコ福音記者
26日（日）復活節第3主日
使徒職の協力者会の集い 講和・ミサ（司教館15時）
司祭団ソフト練習（玉名13時）／教区司祭集会
教区司祭集会（玉名）
29日（水）修道女連盟 講話・ミサ（カテドラル9時45分）

- 5月
2日（土）クルシリヨ（黙想の家～5日）
3日（日）復活節第4主日／世界召命祈願の日 憲法記念日
＊ゴシック文字は、司教日程
＊司祭の命日は2000年以降からお載せしています。

『世界召命祈願の日』によせて

2009年福岡教区は、宮原司教様の『年頭の挨拶』の呼びかけを受け、5月3日（日）の『世界召命祈願の日』を、教区民が心一つにして祈る司祭召命の育成を深める日といたします。

- ◆各教会で召命のための共同祈願を捧げ、『召命を求める祈り』を、ミサ後に唱えるなどして召命の意識を深めましょう。
 - ◆『召命』について信徒間や教会学校で取り上げ、話し合うこともお勧めします。
 - ◆各教会に小神学校及び大神学校の2010年度入学案内・入学要項をお送りしました。大神学校の来年（2010年）度の入学希望者申込締切りは6月末となっております。＊司祭を目指し、神学校入学を希望する青少年がおられましたら、主任司祭に申し出てください。
- ＊問合せ：福岡教区司祭召命委員会

福岡

- ◆大牟田第3回キリスト教講座（日時）4月15日（水）14時から15分間、毎週水曜日（場所）カトリック大牟田教会（参加費）無料（内容）一年を通して自分・キリスト・共同体と出会うための、神さまの賜物である自分を受け入れ、人生を開花するために（問合せ先）☎090・82221・529 3 福永
- 召命祈願ミサ（日時）4月16日（木）19時30分から（場所）日本カトリック神学院福岡キャンパス大聖堂（主式）浦川務神父（カトリック久留米教会主任）
- 在セフランシスコ会集会（日時）4月19日（日）14時から（場所）高宮フランシスコ会修道院在会集会所（内容）アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習（指導）戸村悦夫神父（問合せ先）☎092・843・5831 岩崎
- 召命を共に祈る会（日時）4月23日（木）（場所）召命の家（問合せ先）浦川務神父（教区召命担当司祭・久留米教会主任）
- 『どうすればいいの？』という「紫苑com」のスピリチュアルケア（日時）4月26日（日）14時から16時（場所）福岡黙想の家

北九州

- 北九州召命を共に祈る会（日時）5月14日（木）14時から（場所）カトリック小倉教会聖堂・信徒会館（内容）ロザリオの祈り・ミレーティング（司式）伊東成晃神父（門司教会主任）（問合せ先）☎093・963・2359 江口
- 小倉祈りの集い（日時）4月24日（金）13時半から15時（場所）カトリック小倉教会信徒会館2階（指導）ガブリエル神父（御受難修道会）（内容）『みことばを味わう』賛美と感謝の祈り（連絡先）☎090・3985・5209 松田裕子

佐賀

- 佐賀祈りの集い（日時）4月22日（水）10時～11時30分（場所）佐賀カトリック教会館（内容）共に祈る（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武

熊本

- 熊本地区召命を共に祈る会（日時）4月16日（木）11時（場所）カトリック健康教会（内容）ロザリオと話し合い（問合せ先）健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父
- 熊本召命を祈る徹夜祈禱会（日時）4月17日（金）から18日（土）朝ミサまで（場所）カトリック手取教会（問合せ先）健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父
- 熊本結婚準備講座（日時）5月9日（土）16時から18時（場所）カトリック大名町教会（参加費）300円（主催）川島キヨ子（問合せ先）☎092・715・3606 鈴木美子
- 美野島司牧センター 厳寒の中650人分の準備が必要です。毎週火曜日10時半から炊き出しボランティアにご協力をお願い致します。（問合せ先）☎092・431・1419 K・マルセル神父

編集後記

桜の開花が、とても早いこの年、復活祭を待たずに、桜は散ってしまいうです。さて、教区報は、新年度に入って新しいコラムが始まりました。一面に「カトリック学校の窓」と称して、コングレガシオン・ド・ノートルダム修道会のシスター今泉ヒナ子に連載をお願いしました。少子高齢化時代の中で、学校経営には厳しいものがありますが、カトリック・ミッションスクールを長年リードして来られたシスターに福音宣教の場としての学校の役割や展望について執筆をお願いしました。また、三面には、ご受難会司祭の来住英俊神父様には「教会共同体を考える」と題して、司祭、小教区のあり方、宣教、など教会の課題を幅広く扱っていただきます。ご期待下さい。また、5月からは、教区の年間テーマに沿って「召命」のシリーズも始まる予定です。

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具 **コスモス**

〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ペトロ 平田 清

聖マリア病院

＜医師＞＜看護師＞
TEL 0942-4454 福岡県大牟田市本町2-2-2
TEL 0942-4454（代）FAX 0942-4454
【ホームページ】http://www.smaria-hospital.jp

天然素材の
健康住宅

大地・海・山の恵みを取り入れ優れた素材をそのままディスプレイした住まいづくり
ナガシマ建築工房
社長 ヨゼフ 長島哲夫
福岡市早良区飯倉8-10-17 TEL:092-871-0063
【ナガシマ建築工房 福岡】

サンパウロ福祉宣教センター

主は、愛に
電話された
アしはや!!
【主の愛の物語は、はでましたか】
TEL 092-4454 福岡市早良区飯倉8-10-17
TEL 092-4454 FAX 092-4454
TEL 092-4454 FAX 092-4454



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

7月の意向

- 教皇様の意向のために祈りましょう
- 【一般】中東のキリスト者
 - 【宣教】人類の和解
 - 【日本の教会】休暇と心身の回復

島崎教会創立50周年を祝う 熊本市

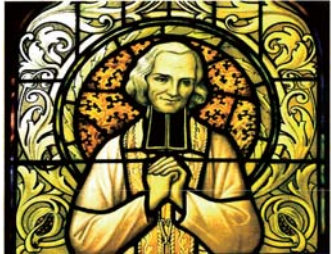
6月14日(日)「キリストの聖体の主日」、島崎教会(主任司祭・宮原良治司教)は、創立50周年を迎え荘厳な記念式典を行った。宮原良治司教を迎えた式典には、地元及び各方面より、司祭・修道者・信徒、約300人が参列、喜びを共にした。



島崎教会(熊本市島崎)は、市の西部を小教区とし、誕生した。この地には、既に1898年、熊本に於ける最初の宣教師、ジャン・マリ・コル神父とマリアの宣教師フランシスコ修道会のシスター達の努力によって、救済事業が開始されており、当小教区の誕生は、ここに起因している。

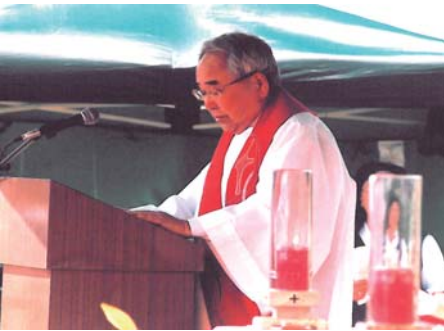
島崎教会の司牧

司祭年(2009.6.19～2010.6.19)開幕 「キリストの司祭職への忠実」



ドミニコ宮原良治司教は、福岡教区司祭団に宛てたメッセージの中で「司祭の年」開始に寄せてとして「ベネディクト16世教皇様の制定により、いよいよ6月19日から

間を有意義に過ごしたいと思えます」と記している。司祭年が今年の聖ヨハネ・マリア・ビアンネ神父没後150周年を記念するものであることが教皇から宣言されている。各小教区では21日の主日のミサの中で、司祭団としては25日の司祭研修会中のミサで、『司祭年』の開始を祈念した。



熊本地区では、昨年188殉教者列福の恵みを受けたこと

福者アダム荒川殉教祈念ミサ

5月31日(日)、福岡城跡(天草市峇北町)において福者アダム荒川殉教記念ミサが行われ、400人あまりが集まった。アダム荒川を記念し、福岡でミサをささげるのは今回が初めて。

熊本地区では、昨年188殉教者列福の恵みを受けたこと

当日は地元天草やアダム荒川のふるさとである島原をはじめ、熊本地区、そして長崎教区各地から信徒、修道者、司祭が集まった。遠くは東京上野毛教会からの参加もあった。ミサは熊本地区長牧山勝美神父の司式で行われ、ほかに13人の司祭が共同司式した。説教はアダム荒川に熱い思い

とを感謝し、郷土の殉教者への思いを深めるために、毎年地区内の殉教地のひとつで記念行事を行うことにしている。折しも天草の三小教区(大江、崎津、本渡)がアダム荒川の殉教記念ミサを発売し計画を進めていたところ、今年はこの行事を地区全体として開催することになった。

は、創立から2005年まで、45年間に亘り、聖コロンバン会によって行われた。この間、初代ドリー神父から数え、歴代8人の主任司祭によって、司牧・宣教活動が行われてきた。現在は、ザベリイ宣教会に移り、主任司祭は、ダニエル・マルケット神父、信徒数は約300人。

に当たり、この主日の大切さについて力説された。この説教は当教会が創立以来50年間、この主日を特別な日とし、毎年欠かさず聖体行列を行ってきたことの意義を説き明かしてくるものであり、島崎教会の50周年にふさわしいものであった。

第二部では来賓の祝辞、第三部で聖体行列が行われた。当教会で創立以来、欠かさず行われてきた聖体行列が50回目の今年も素晴らしい天候に恵まれたことに感謝しながら行列は行われた。教区の司教によって「聖体が顕示され、行列が行われたのは、今回が最初であった。

記念式典に参列した一信徒は、「昨年11月、50周年記念

カトリック学校の窓 ④

『今はひどい時代だと言われているけれども、今ほどこい時代はない』と言われたのは、マルティン・ルター卿でした。『あ、シスターもあれを読んだのだね。』四世紀の教父時代以上に豊かな神学の時代だ』とかね。『二見、シツチャカメツ

洞察なのでしようね。」「かつて、秩序と安定があった古きよき時代には、『この路線で行きさえすれば安全』みたいなものがあって、楽だったけれど、今は何でも自分で見つけていかなくては、という世界だね。」「裸で、聖霊の前に一人で放り出されたみたいな。でも、相手が聖霊なので、怖くないはずですよ。」「日本のカトリック学校で働くに当たって、その孤独を感じますか。」「お祭りの通りです、神父様。カトリック学校同士が結束して、研修会をしたり、提案を出し合ったりしながら、不安な世界経済、少子化、司

祭や修道者の高齢化、お金とモノ中心の価値観という、ナイナイづくしの中で頑張っています。でも、人それぞれの顔が違うように、学校も、置かれた場とか、歴史とか、すべての点で全部違うものだから、よそ様の学校から学ぶことは多々あっても、結局人まねでは解決が出来ません。それぞれの学校が、自分で対決し、祈っていく他ありません。」「分かった。祈りで応援するよ。」

シスター 今泉ヒナ子 (CND)

司教団、裁判員制度に公式見解を発表

を前に、島崎の15人の殉教者が列福されました。今日は、とても良い天候となり、創立以来50回目の行列を行うことができました。ここに、私達の教会への、神の慈しみの御手を見る思いがいたします。」と感慨深く語った。

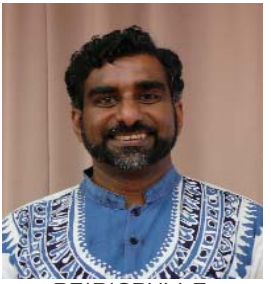
司教団は、裁判員制度についての公式見解を6月17日付で発表した。それによるとキリスト者は「福音の精神に導かれて、地上の義務を忠実に果たすべき」(『現代世界憲章』43番参照)という観点から「各自がそれぞれの良心に従って対応すべきである」とされている。しかしながら、信徒が実際に裁判員に任命を受けた場合、不安やためらいが起り得る。その際は、司牧者に相談した上で、教会の教えに注意を払いながら、自分の役割を引き受けることがすすめられる。さらに教会は、『カトリック教会のカテキズム』(285番)及び司教団メッセージ『いのちへのまなざし』の中で、死刑廃止の方向を明確に支持しているが、それ故「死刑判決に関与するかもしれないなどの理由から良心的に拒否したい、という方の立場をも尊重します。」とされている。

はカトリック信徒だから、政治的なことに関与しないとか、あるいは逆に教会の教えを無視して裁判員として振舞うという姿勢である。すでに信徒として、裁判員の候補者として選出された人もあることを考えると、わたしたちの身近な社会の問題として、この制度について理解を深めるとともに教会の教えをも併行して学ぶ必要がある。

一方、聖職者、修道者、使徒的生活の会の会員に対しては、教会法第285条第3項「聖職者は、国家権力の行使への参与を伴う公職を受諾することは禁じられる」の規定に従い、「聖職者、修道者、使徒的生活の会の会員が裁判員の候補者として通知された場合は、原則として調査票・質問票に辞退することを明記して提出すること、また辞退したにもかかわらず選任された場合は、過料を支払い不参加とすることを勧める。」とされている。

辻井伸行さんが、世界的なピアノコンクールで優勝したというニュースは暗いニュースばかりが続く昨今、わたしたちに大きな光を与えてくれた▲受賞の時、お母様は、「わたしの子どもに生まれてくれてありがとう」と語った。当たり前のことだと思いが、この言葉が新鮮に響いた方も多いのではないかと。生後、視覚障害があることが分かったとき、母は「絶望の淵に立たされ、深い谷底に落ちたようなショックを受けた」と言う。にもかかわらず、子どもの才能にいち早く気づいて立ち上がっていく母。伸行さんは言う「花火に行っても、心の中で色とりどりの花火が開く。母のおかげで、何でも心の目で見られるようになった。不自由はありません。」と言いきる▲先日、小学生に親の恩師の恩を忘れない人になりましょうという話をした。ある子が「恩って何ですか」と尋ねた。恩を分らない子どもたちが増えていくとすれば、どうしてその子が、人様に恩を施すことが出来るのか。確かに恩は売ったり着せたりするものではない。一生懸命生きていくときに相手に自然と伝わるものである。それが子どもたちに伝わっていないとしたら、私たちの人としての様々な関係がどこか間違ったさなければならぬのかもしれない▲「わたしの子どもに生まれてくれてありがとう」父なる神は子である私たちにこのように言っておられる。であれば、私たちはその神の思いに応える生き方がしたいものである。イエスの心の奥底にもこのみ声が響いていた。「これはわたしの愛する子、これに聞け」と。M

スリランカは平和になったの？



PEIRIS PULLE Jude Canisius 神父

皆さんは、ニュースでスリランカの戦争が終わったというところをお聞きになったと思います。

スリランカのことを全く知らない方は、スリランカに戦争があったの？いつからでしたか？という戦争ですか？と尋ねられますが、スリランカはどこにありますが？という質問さえありました。そこで、戦闘が終結したとはいえず、決して平和が来たとは言えない状況にある私の国の現代のことを書くかと思っています。



イザヤ 来住 英俊

(4) 司祭は共同体を育てる

叙階式の季節になると、新司祭の抱負がカトリック新聞や教会報に載ります。「人の話をよく聴く司祭でありたい」という抱負を述べる人が多いように思えます。話をよく聴いてくれる人は少ないので、好感を持って読まれるようです。

ところで、「誰」の話を聴くのでしょうか。自分の問題を抱えている人の話に耳を傾け

スリランカで行われていた戦争は内戦です。スリランカは美しい島国で、1948年イギリスから独立して、タミル人、シンハラ人という二つの民族が、平和に暮らしていました。独立後、この二つの民族間に政治的な問題が起きました。1975年あたりから、政府に反対する

L T T E (Liberation Tamil Tiger Eam) というテロのグループがタミル人の中で生まれます。それから34年間続けられた内戦が国を荒廃させてしまいました。

経済的に落ち、モラルが落ち、沢山の大事な人が犠牲となりました。北の方では多くの若者が、将来を失い、子どもには父親がない国となっていました。この期間、内戦だけで亡くなった人は10万

から12万人にのぼります。さらに30万以上の人がまだ難民となっていました。このような状態では、自分の国で平和に暮らせないということ、外国に逃げてしまった人々も多数にのぼります。この人達もある意味で難民ではないでしょうか。

なぜ戦争が始まったのか？
どうやって終わったのか？

戦争の始まり。
1948年の独立のために、タミル人とシンハラ人が一緒に戦いましたが、新政府の78%をシンハラ人が占め、タミル人が差別されたことで内戦が始まります。タミル人の自由のためにL T T Eというグループが政府と戦うことで、また武器を持って戦うことでテログループになりました。このグループは当初は、タミル人の権利回復という目

的で闘いますが、時間がたつとともに、政治的な事が絡み合い、沢山の人を、それも民族も無関係に、彼らと反対の意見を持っているというだけで人々を殺してしまいます。このL T T Eというテログループはアルカイダのような強力なグループでした。自爆という恐ろしいものを世界に紹介したグループで、沢山の女性とその犠牲となりました。スリランカの大統領一人を殺し、一人を怪我させ、インドの首相R A J I V E G a n d i をも殺してしまいました。多くの政治家、一般人が、自爆の犠牲となりました。またテロリストが解放されたとき、情報の漏洩を防ぐため、S A Y A N I D E という毒を自分の首に下げて毒を飲んで自殺するということも行い、その数は数え切れないぐらいです。

という意味のような気がします。しかし、司祭が人の話を聴くのは、もう一つの局面があります。それは教会(小教区)運営について様々な意見を持っている人の話を聴くということです。私の経験では、こちらの方がずっと難しい。

問題を抱えている人の話を聴くことも、もちろん容易ではありません。時間はかかるし、自分は具体的な援助手段を持っていないことが多いので、ただ聴いているのは辛い。しかし、話される問題について自分は第三者ですから、善意と忍耐があれば、「受容的傾聴」はそれなりにできます。

一方、共同体(小教区)運営に関する話を聴く場合は、司祭は第三者ではなく、当事者の一人です。自分自身の意見がある場合、自分が非難されていると感じる場合、そう簡単には受容的に聴けませ

御受難修道会
宗像修道院長

ピリスブッレ・ジュード神父
オペレート司祭
古賀教会主任



十主の平和
宮原司教様へ



青葉 若葉、目に美しい好季を迎えまし

た。いかがお過ごしでしょうか。私たちは試験も終わって一段落し、少しだけホッとしているところです。今日はいつもお世話になっている方々へのお礼の手紙を書かせていただいています。先日、私たちのためたくさんのアイヌ、ピザをいただき、ありがとうございました。心から感謝申し上げます。こうして私たちのことを支えてくださる方々がいるということを心強く思いながらこれからも司祭を目指し、精一杯頑張っていくと思います。今の私たちには、何もお返しするものがない

ありませんが、ミサやお祈りの中で恩返しできたらと思っています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。清々しい季節ではありませんが、油断して風邪をひかれる方も多いと聞きます。どうぞお身体にはくれぐれもお気を付けてお過ごしください。マリア様の守護がありますように。感謝のうちに。
神学生代表 中学1年
萩原 直人(今村教会)

聖霊刷新国際
大会に参加して

聖霊刷新の国際大会が行われた韓国、コトネは神の愛の火が燃えさかり、その愛を実践していた。貧しい人々に格別の援助を行う修道者300人、賛助会員100万人を抱える聖霊刷新の大きな共同体という偉大な実りを結んでいた。国際大会は世界48ヶ国から約10000人の参加者で、枢機卿、司教12人、司祭50人以上も中におられ感動した。種々の民族、異なる言語の老若男女が一つになつて手を挙げて賛美の歌を熱唱し、異語で祈り、神をたたえ

る体験は素晴らしかった。私たちは聖霊に触れ、満たされていた。悔い改め、いやされ、解放されて大きな愛、喜び、平安をいただいた。主の現存に圧倒され涙した毎日のミサや沈黙の聖体礼拝では、多民族でありながらもカトリックは普遍であるので、皆が一致できるという素晴らしい恵みを実感し、感謝した。最後の日に一般公開された野外ミサでは、約5万人という大群衆に驚かされた。一人ひとりに聖体を配りに行かれる司祭の姿に涙し、こんなに多くの人々とキリストにおいて一致出来ることに感動した。父なる神は愛、イエスは愛、聖霊は愛、私は愛、あなたも愛であることを実感し、愛の火だるま状態になり帰国。このいただいた愛の火を消すことなくまわりの人々に笑顔でもって伝えたい、燃やしたい、暖めてあげたいと熱望する。私が生まれてきたのは神と人とを愛するためだ！とはっきりわかったのだから。
主に賛美！アレルヤ！
内藤さとみ(西新教会)

『カトリック新聞・4週間無料試読キャンペーン』展開のお知らせ



1923年の創刊から4000号を迎えた記念のロゴ！

この度、カトリック新聞社では、福岡教区・宮原良治司教様のご承認をいただき、福岡教区の全教会で、「4週間無料試読キャンペーン」を展開させていただきます。

◇申込期間
2009年6月29日～8月31日(申込締切日)
◇新聞送付期間
2009年9月6日付から4週間
◇新聞送付先
直接ご自宅へお届けします

※現在新聞をご購読いただいている方は、恐れ入りますが、申込はがきをお友達、親族の方にお勧めいただきますようお願いいたします。
カトリック新聞社
営業部 購読係
〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10
☎ 03-5632-4432
☎ 03-5632-7030
渥 03-5632-7030

ちょっと一息



球場の半分沸かすホームラン
暗証番号の四ケタに入れておく老後
坂牧春妙
深堀正平

典礼音楽研修会 一典礼音楽の豊かさを求めて一

◆ 7月27日(月) 16:00開始～29日(水) 15:00終了
講師：新垣壬敏(作曲家、東京純心女子大学特任教授)
【費用】全日程完全参加の場合 18000円

カトリック福岡黙想の家
聖堂/洋個室(洗面トイレ付)/冷暖房/浴室シャワー室/障害者用トイレ/エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

ミサ用ワイン

ヴィノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑 [SOU-EN]
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

近頃の若いモンは

—青年による青年事情通信—
第4回 あっちこっちミサ

「あっちこっちミサ」全国あちこちで、同じ時刻、同じ典、同じテーマで捧げるミサ」は今回で4回目。福岡も開催地のひとつとして、全国あちこちの仲間と共にミサを準備してきた。福岡のスタッフは「洗礼を受けていない方に参加してもらいたい」「ミ



の講堂には80人を超す人が集

「パンフレットの言葉など教会が初めての人にもわかるようスタッフと工夫した」と代表を務めた古木英祐さん(光丘教会)は話す。

「一緒に動く仲間、はほとんどが10代後半から20代前半の新青年の世代。中高生や友人へと声をかけ、こうして開催当日会場となった泰星高校の講堂には80人を超す人が集

「聖歌も雰囲気も楽しかった。気軽に来られる感じでお友達も誘い易い」と話す。青年会の娘と参加したご夫妻も「人との出会いの中で神さまに出会っていくのは素晴らしいですね。これからもお互いの世代に関心を持ち分かち合っていきたい」と話してくれた。

夏期神学講座及び臨床パストラルケア 哲学・神学養成講座 開講のご案内

日時 7月30日(木) 午前9時から
8月8日(土) 午後2時まで
場所: 日本カトリック神学院福岡キャンパス
(福岡市城南区松山1-1-1 Tel. 092-871-4943)
問合せ・申込先: 158-95 東京都世田谷区瀬田
1-28-2 NPO 法人臨床パストラル教育研究センター本部事務所 ☎ 03-3700-3425
☎ 03-3700-3427 (申込は☎で)
*全科目を受講または、特定科目だけを受講のいずれも受講できます。
受講費: 全科目 25000 円 / 1科目 3000 円
宿泊費: 1泊 5000 円 3食付 (宿泊は女性のみ)
◆問合せは、神学校ではなく直接研修センターへお願いします。申込については受講希望の科目を明記してFaxをお願いします。宿泊の希望もセンターの方へ申し込んでください。
◆受講費・宿泊費とも当日の受付で支払いをお願いします。

講義内容と講師		
日程	講義科目	担当者
7月30日	倫理神学概論	牧山 強美
7月31日	宗教概論	阿部 仲麻呂
8月1日	哲学概論Ⅰ	谷 隆一郎
8月2日	神学的人間論Ⅱ	大山 悟
8月3日	聖書学概論	B・クアン
8月4日	旧約聖書Ⅰ	和田 幹男
8月5日	新約聖書Ⅰ	川原 昭如
8月6日	生命と性の倫理	中村 倫明
8月7日	霊性神学Ⅰ (基礎)	白浜 満
	評価と反省	Sr. 木澤
8月8日	病者の塗油	白浜 満

6月13日、宗像市・福岡黙想の家に再建中の旧ザビエル聖堂の上棟式が行われ、かつての美しい姿がその一端を現した。

中学生をはじめ多くのボランティア(因みに2008年度は延べ1140人)の参加によって作業が進められ、この日を迎えた。屋根と壁は木の部材が見事に組み合わされ、聖堂正面と側面の入口にはかつての石段と石柱が再びはめ



10月以降はこの美しい木組みを見ることはできない

再生プロジェクトでは、作業ボランティアおよび資金面の協力、再生への思いと祈りによる協力を待っています。郵便振替口座番号 017201144311 加入者名 NPO 法人文化財保存工学研究室 問合せ 092-811-1407 土田 充義

再生プロジェクトでは、作業ボランティアおよび資金面の協力、再生への思いと祈りによる協力を待っています。郵便振替口座番号 017201144311 加入者名 NPO 法人文化財保存工学研究室 問合せ 092-811-1407 土田 充義

わたしは神学校を卒業して10年ほどになりますが、司祭になつてからというもの積極的に神学校に近づこうとしていません。福岡地区の召命担当にもなりましたので、いつまでもそういうわけにはいきませんが、神学校で長く生活していたこと、その在学期間の辛さが原因なのかと考えます。悩み多き年頃に、祈りと勉強に明け暮れる毎日はストレスを抱える日々でした。しかしその祈り、勉強こそは司祭を目指す神学生に必要なものであり、その時間を確保するために朝早く起きること、夜はほとほとどの時間に休むことは当たり前のこととす。むしろ祈り、勉強を



ミカエル竹内英次神父

司祭シリーズ ③

「神学生と養成者」

ていたのですが、さすがに温和な神父さまも私のこの態度に怒ったのか私を呼び出し、「なぜ来ない？」と顔を赤くして問いました。わたしもこんな自分のために一生懸命になつてくれている人がいるんだと気づいた時に中途半端だった気持ちが固まった、そんな気がします。

6月13日、宗像市・福岡黙想の家に再建中の旧ザビエル聖堂の上棟式が行われ、かつての美しい姿がその一端を現した。

中学生をはじめ多くのボランティア(因みに2008年度は延べ1140人)の参加によって作業が進められ、この日を迎えた。屋根と壁は木の部材が見事に組み合わされ、聖堂正面と側面の入口にはかつての石段と石柱が再びはめ

妨げる別のもののために時間を使っているからストレスを感じたり、時間が足りない、自由がないと嘆いたりしたのかも知れません。そんな不安と不満を腹に抱えていたわたしが、大神学校に入つてしばらくした頃、ツルデル神父さまのラテン語の授業がとて苦痛で3度ほど仮病を使って休んだ時がありました。おそらく理解できない言語を見るだけで嫌になつていました。

福岡教区長宮原良治司教の命を受け、教区事務局長・浄水通教会主任を兼務していた田中重治神父が5月15日(金)、イタリアへ出発した。これまで福岡地区の青年担当だったこともあり、福岡空港には早朝にもかかわらず20人あまりの青年が駆けつけ

た。青年たちが「メール出しますから」と口々に声を掛けるのを聞いて、「時代は変わったね。距離感が違う」という声が聞こえた。



田中神父の見送りに集った若者と

☆あけぼの

女子パウロ会 発行

定価・送別 300円

年間・送共 3600円

☆家庭の友

サンパウロ社 発行

定価・送別 300円

年間・送共 4000円

☆カトリック生活

サンパウロ社 発行

定価・送別 286円

年間・送共 3300円

☆聖母の騎士

聖母の騎士社 発行

定価・送別 147円

年間・送共 2520円

☆あけぼの

女子パウロ会 発行

定価・送別 300円

年間・送共 3600円

☆家庭の友

サンパウロ社 発行

定価・送別 300円

年間・送共 4000円

☆カトリック生活

サンパウロ社 発行

定価・送別 286円

年間・送共 3300円

☆聖母の騎士

聖母の騎士社 発行

定価・送別 147円

年間・送共 2520円

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリヤ 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.inuka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表: エリザベト熊谷

総合建築業

- ・一般住宅 (新築・改築工事)
- ・鉄骨工事
- ・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**

ヨゼフ 森山 森山 新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

木との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール FUKUOKA

テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大宮2丁目1番1号カトリック教会1F
平日 AM 10時 ~ PM 5時 40分
日・祝日 AM 11時 ~ PM 4時 (休館日不定)

TEL 092-741-6888 FAX 092-741-6861
URL http://www.psa-inc.co.jp

み国が 来ますように！

カトリック教会のカテキズム

日時：2009年7月26日（日）15：00
場所：カトリック大名町教会
講師：櫻井尚明神父（大名町教会主任）
資料：カトリック教会のカテキズム

2009 年度北九州地区聖書講座

メインテーマ：いただきます
～神のことばを食べる～

日時：7月26日（日）14時～16時半

場所：カトリック行橋教会

講師：山元 眞 神父（行橋教会主任）

テーマ：新約聖書の言葉の味

主催：北九州地区信徒協聖書部会／
教区聖書委員会

* 2010年1月24日まで、全6回開催します。

日本カトリック平和旬間

◆福岡地区

・インターナショナルミサ（カテドラル14時）

◆第9回北九州地区平和の集い

テーマ：伝えよう、子どもたちへ、いのちの尊さを

・午前：各小教区で平和ミサ

・午後：カトリック小倉教会 13時から

・献金：いのちを守るための緊急募金

（カリタスジャパン）

この夏、若もののプログラム

◆第15回カトリック日韓学生交流会

日程：2009年8月13日（木）～18日（火）

テーマ：『話し合おう、神のもとで』

対象：18歳～25歳 この交流に理解のある方

参加費：12,000円＋旅費

主催：日本カトリック中央協「青少年司牧部門」

企画：東京教会管区（担当：福島一基神父）

*参加希望者は、福島一基神父まで

☎03・3417・5211（成城教会）

◆FYCC 7に参加しよう！

テーマ：『一緒におうちへ帰ろう』

日時：8月21日（金）～23日（日）

場所：日本カトリック神学院福岡キャンパス

参加費：4500円（兄弟割引あり）

対象：福岡県内の中学生・高校生

問合せ先：e-mail:fycc7.together@gmail.com

☎092-741-3687（大名町教会：10時神父）

代表：豊嶋 玲（大名町教会）

主催：福岡地区青年会

◆福岡教区夏期召命学校

テーマ：「私たちの教会、私たちが教会」

日時：2009年8月18日（火）～20日（木）

18日（火）10時大名町教会集合して出発

場所：カトリック新田原教会

対象者：小学4年生から中学3年男子（30人）

参加費：1500円／申込締切：8月2日（日）

申込・問合せ先：浦川神父（☎0942-32-8011

久留米教会）

*目的：自分たち一人ひとりが教会の一員であることを意識して、教会で自分に出来ること、神さまから任せられている使命について考える。それを通してさまざまな召命、司祭召命、修道者の召命、使徒の召命についても考えていく。

福岡教区広報室アドレス

E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案内板

会合と催し

7月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 7月

◇4日（土）～5日（日） 山口・島根信者養成研修会
◇6日（月）～7日（火） 召命を共に祈る会黙想
◇10日（金）～12日（日） 第一回オランテ黙想の集い
◇10日（金）～16日（木） キリスト者のための内観黙想会
◇18日（土） 福岡チェナクルム
◇18日（土）～19日（日） 神の前で生と死を考える集い（第二回）
◇20日（月）～23日（木） 産業医科大学・医学概論セミナー
◇25日（土）～26日（日） 池田教会・典礼研修会
◇27日（月）～29日（水） 典礼音楽研修会（講師：新垣壬敏）
◇31日（金）～8/9日（日） 福音の光修道会黙想

〒811-4155 福岡県宗像市名残1056

☎0940・32・3222 ㊟32・3385

http://www1.biz.biglobe.ne.jp/fmokusio/index.htm

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ：聖パウロについて

レクツィオ ディヴィーナ

・日時：7月9日（木）10時～15時半

・内容：キリストの使徒であるパウロ

指導：フランコ・ソットコルノラ神父（真命山院長）

ダニエレ サルツィ・サルトリ神父

園田善昭神父／Sr. マリア デ・ジョルジ

問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター

☎0968・85・3100 ㊟0968・85・3186 ・玉名郡和水町蜻浦

1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：7月18日、8月1日 第1・第3土曜日10時～12時

場所：カトリック大名町教会小聖堂

*基本的に第1・第3土曜日。変更の場合もあります。

奥村アヤ子さんのお話を聞く会

日時：7月26日（日）11時から

場所：カトリック久留米教会聖母幼稚園ホール

お話し：「原爆で一瞬にしてひとりぼっちになっ

てしまった」と言う、奥村アヤ子さん（被

爆語り部＝城山教会信徒）

参加費：無料

主催：憲法9条を世界の宝に・ピース9の会

連絡先：☎0942・47・1044 井手順子

奥村アヤ子さんのお話を聞く会

日時：7月26日（日）11時から

場所：カトリック久留米教会聖母幼稚園ホール

お話し：「原爆で一瞬にしてひとりぼっちになっ

てしまった」と言う、奥村アヤ子さん（被

爆語り部＝城山教会信徒）

参加費：無料

主催：憲法9条を世界の宝に・ピース9の会

連絡先：☎0942・47・1044 井手順子

奥村アヤ子さんのお話を聞く会

日時：7月26日（日）11時から

場所：カトリック久留米教会聖母幼稚園ホール

お話し：「原爆で一瞬にしてひとりぼっちになっ

てしまった」と言う、奥村アヤ子さん（被

爆語り部＝城山教会信徒）

参加費：無料

主催：憲法9条を世界の宝に・ピース9の会

連絡先：☎0942・47・1044 井手順子

奥村アヤ子さんのお話を聞く会

日時：7月26日（日）11時から

場所：カトリック久留米教会聖母幼稚園ホール

お話し：「原爆で一瞬にしてひとりぼっちになっ

てしまった」と言う、奥村アヤ子さん（被

爆語り部＝城山教会信徒）

参加費：無料

主催：憲法9条を世界の宝に・ピース9の会

連絡先：☎0942・47・1044 井手順子

奥村アヤ子さんのお話を聞く会

日時：7月26日（日）11時から

場所：カトリック久留米教会聖母幼稚園ホール

お話し：「原爆で一瞬にしてひとりぼっちになっ

てしまった」と言う、奥村アヤ子さん（被

爆語り部＝城山教会信徒）

参加費：無料

主催：憲法9条を世界の宝に・ピース9の会

連絡先：☎0942・47・1044 井手順子

奥村アヤ子さんのお話を聞く会

日時：7月26日（日）11時から

場所：カトリック久留米教会聖母幼稚園ホール

お話し：「原爆で一瞬にしてひとりぼっちになっ

てしまった」と言う、奥村アヤ子さん（被

爆語り部＝城山教会信徒）

参加費：無料

主催：憲法9条を世界の宝に・ピース9の会

連絡先：☎0942・47・1044 井手順子

1日（水） 福者ペトロ岐部司祭と187殉教者
3日（金） 聖トマ使徒
5日（日） 年間第14主日／**光丘教会堅信式**
6日（月） 召命を共に祈る会黙想（黙想の家～7日）
9日（木） 召命祈願ミサ（大神学院19:30）
12日（日） 年間第15主日／**戸畑教会堅信式**
16日（木） カルメル山の聖母／福岡教区創立記念日（1927年）
女子カルメル会ミサ聖祭
年間第16主日／**健軍教会堅信式**
海の日
22日（水） マグダラの聖マリヤ
25日（土） 聖ヤコブ使徒
26日（日） 年間第17主日
29日（水） 聖マルタ
↑T.グローガン〔2004年美野島教会〕

8月
2日（日） 年間第18主日／**馬渡島教会堅信式**
4日（火） 聖ヨハネ・マリヤ・ピアンネ司祭
5日（水） ↑ペトロ平田三郎司教〔2007年第4代教区長〕
6日（木） 主のご変容／日本カトリック平和旬間（～15日）
7日（金） **ドミニコ宮原司教霊名の祝い**（カテドラル11時）
↑J・Pラベル〔2004年サン・スルピス司祭会〕
8日（土） 聖ドミニコ司祭
9日（日） 年間第19主日
平和の集い

*ゴシック文字は、司教日程
*司祭の命日は2000年以降からお載せしています。

福岡和名墓地清掃日 和名墓地納骨式・追悼式
日時：7月12日（日） 9：00 から
ミサ：11:00
予備日：7月26日
*福岡教区納骨堂管理委員会

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

和名墓地納骨式・追悼式
納骨ミサ：8月13日14時
追悼ミサ：8月15日14時
（岩永義人神父様納骨式）
納骨堂開放日：第2日曜日
12：00～15：00

福岡

福岡

福岡

福岡

福岡

福岡

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具 **コスモス**

〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3

TEL 0942-77-3199

代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会

聖マリア病院

救命救急センター

総合周産期医療センター

地域医療支援病院

内科・歯科臨床研修病院

*入院基本料（一般病棟7：1）

〒830-8543

福岡県久留米市津福本町422

TEL 0942-35-3322（代表）



「パウロ年」を感謝と共に閉幕

パウロ年閉幕ミサが、6月28日14時からカテドラルにて行われた。ミサの説教で、宮原良治司教は、「教区はこの年、パウロから豊かな恵みの風をいただいて、新たな船出をした。パウロ年は教区の今後の進むべき方向性に大きな示唆を与えてくれた。さらに聖パウロが、復活したキリストと出会い回心したように、神との出会い、交わりこれが真の回心につながる。パウロがその当時の社会と教会をつなぐ橋渡しをしたように、私たちも日々回心し、現代社会と教会あるいは神様をつなぐ架け橋になろう」と語った。



カトリック荒尾教会(現荒尾教会)司祭長杉野サヨ子(昭和三十九年4月29日)に故ドミニコ深堀仙右衛門司教により創設された。当時の聖堂は木造平屋建てで畳敷

荒尾教会創立50周年を祝う

6月21日(日)、カトリック荒尾教会(下町豊重主任司祭は、教会創立50周年を記念した。近くにあった三池炭鉱に働く信徒の増加に伴ない大牟田教会から分離する形で荒尾の地に信徒数45人の聖ヨゼフに捧げられた教会が献堂された。

きであつた。この日の聖堂と司祭館の落成式には当時の荒尾市長など多方面から多くの関係者が参集したと記録されている。

司牧は聖コロンバン会に委ねられ、初代主任司祭としてモロニー神父が任に当った。文字通り炭鉱の町の教会としてスタートしたが、様々な社会状況などで宣教は困難を呈した。モロニー神父は司牧の傍ら、近隣のカノッサ修道会や明光学園との交流や不明の信徒探索に日々を費やした。二代目のベーカー神父(聖コロンバン会)の時には炭鉱爆発があり、被災者慰問に尽力した。三代目はオマール神父、四代目にドイル神父、五代目はオマホニー神父、六代目ではミラノ会のスカットロン神父になり、七代目は長崎教区の

「召命と司祭職」で司祭50人が研修



6月23日から25日まで、唐津ロイヤルホテルを会場に福岡教区で働く司祭のための研修会が開催された。

今年テーマは「召命と司祭職」である。最初の基調講演に立った聖ザベリオ宣教会のS・フランコ神父は、「司祭職を理解するための鍵は、イエス・キリストである」と語った。キリストは私たち人類のためにご自分の血を流すことによつて神と私たちを結び付けられ、唯一の祭司職を果たされたが、信徒も神を賛美し、祈り、人々を神へと導く時、教会共同体全体としてこの祭



宮原良治司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 人
カトリック福岡教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡教区
定価 一部60円

8月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】難民と移住移動者
【宣教】迫害され差別されるキリスト者
【日本の教会】完全な核廃絶の実現

カトリック学校の窓⑤

カナダ人で、日本が初めてというM神父は、まだまだ熱心な質問を続けてきた。日本のカトリック学校が、良心的で、概して一定のレベルを維持していることは、わかったよ。それから、それぞれの学校が、困難な状況の中を全力で踏ん張っているようすも、つかめた。こうした学校が、日本の社会でどういう貢献をしていると言えるのかな。

まず、今の日本のカトリック学校は、いろいろな意味でそれぞれの地域に影響を持つ人々を育てていると思えます。中国のことわざで、『国家百年の計』というのですが、もちろん息の長い話です。『我々の生きている間に結果を見なくてもね』。『はい。それで、この人たちに、福音的な価値観を持ってもらうことが、私たちの最終的な狙いと願っています』。

「福音的価値観については、まず、それに触れさせることだろうね。『そうです。それと、理論武装の支えも。』でも、それらすべてのベースとして、学校が子どもたちにとって、来るのがうれしい場

夏季召命学校

テーマ：「私たちの教会、私たちが教会」
日時：8月18日(火)～20日(木)
18日10時に大名町教会に集合
場所：カトリック新田原教会
対象者：小学4年生から
中学3年生の男子(30人)
参加費：1500円
持参する物：ロザリオ・洗面道具・健康的な食べ物・上履・袖中電卓・写し・懐中時計・運動靴など

*着替えは多めに持ってきてください。
申込・問合せ先：浦川務神父
(☎0942-32-8011 久留米教会)

司職を生きる。キリストはさらにもう一つの祭司職に私たちを招かれた。すなわち、教会共同体を支える者として使徒たちを派遣され、彼らの後継者が司教、司祭と呼ばれるようになる。この新約の祭司は、教会共同体に「対峙」した働きだけではなく、共同体の代表として「教会共同体とともに歩む」という働きがあることを示唆した。最後に司祭は、第2バチカン公会議以前は、ミサの中で、いけいであるキリストを捧げる者という観点から理解されていたが、同公会議は派遣という新たな観点から捉えられていることを指摘し、司教と司祭の

一致さらに司祭団としての一致が求められていることを強調した。次に、行橋教会主任の山元眞神父が基調講演として、司牧の観点から「司祭と信徒の協力関係」について語った。山元神父は自らの小教区を紹介しながら、司祭と信徒、司祭と司祭の対話の重要性を話した。

また、今回の研修会で一同に感銘を与えたのは2人の司祭の召命体験であった。天草地区3教会の協力司祭である井手公平神父は、自らの挫折や失敗を通して召命の道に導かれたこと、また自分の中にある弱さや醜さを包み

隠すことなく神様に委ねた時、解放されたと言った。また、カテドラル大名町教会の大塚了平助祭は、家庭や自分の回りに一切キリスト教の雰囲気のない状況からどのようにに神の道に入るようになったのかを淡々と語った。韓国に留学をしていた大学時代に下宿先の家族を通してカトリックに出会い、受洗し、帰国後、青年会活動を通して司祭への道を歩むことになった。いよいよ神学校に入ると決まった時も、家族に反対され、理解してもらえなかったという体験を語った。

その後、司祭と信徒の協力などについてグループに分かれて分かち合いを行った。教区内で働く司祭たちが理解を深め合うチャンスでもある恒例の懇親会では、各修道会、宣教会、各国の歌などが余興として披露され、なかなか雰囲気2日目を終えた。

最終日は、司祭団としての「司祭年」開幕のミサが、宮原司教を中心に全員の共同司式で行われ、3日間の日程を終えた。



最近電車や地下鉄に乗って思うことがある。10年ほど前にはなかった光景である。それは、自分が乗っている車両に座っている人々のほとんどが、ケイタイを見ていて、雑誌や小説を読んでいる人であまり見かけないということ。彼らは、友人とメールを交換しているのかもしれない、あるいは大事な商談をしているのかもしれない。あるいはインターネットに接続して何らかの情報を得ているのであろう。いずれにせよ、彼らは電子上の何者かと交信している。誰かと面と向かって話しているわけではない。そんな形でコミュニケーションしているときは、ある種の緊張や、相手に対する気遣いはそれほど必要ではない。キーを自らの思いに従ってたくという機械的な作業で済みます。とができる。しかし、ここでちよつと考えて見る。顔を見えるわけでもない、声を聞いてるわけでもない、どんな仕草や振舞いを見ることがもなく、ただ無機質な電子文字だけで人々がコミュニケーションし、それがすべてになったとき、何が起ころのだろう。相手が直面していることに対する共感、あるいは同情、相手の思い等を推し量ることができるだろうか。つまり、自分が情報を受けて処理するばかりではなく、自らそれぞれの事象について考え、判断し、行動するということが少なくないのではないか。現代は、意志伝達が完結するプロセスが限りなく短絡化してはいないか。そこには、相手の苦悩に寄り添うとか、一緒に悩むなどということが意味のないものになる。時々ケイタイを置いて生きてみませんか。M

1988年のナイス以来、教会の中で「分かち合い」は、かなり根付きました。分かち合いで大事なことは、まず相手が何を言いたいのかを傾聴

(5) 司祭は共同体を育てる



その反面、教会の中で「議論」することが難しくなったように思います。日本の社会全体がそうなのですが、場の調和的雰囲気や大事にするあまり、議論を避けるようになっていきます。しかし、分かち合い（傾聴）だけで共同体は発展できません。今やっていることを続けていくだけならともかく、状況を考えて方向を大きく変えようとする場合、「私はそう思わない、なぜならば」と反論すること

必要になります。相手の感情を傷つけないことがいつも最優先されると、活力ある共同体は望めません。今は分かち合う場なのか、議論する場なのかを区別すべきです。そして、議論の場では、私たちはもっとタフになるべきでしょう。一方、議論になると、強い語調で発言する人が場を支配しがちです。これは避けなければなりません。会社なら「激しい議論も仕事のうち」という共通理解があるし、上に行こうとする人はそれなりの覚悟もしていると考えていいでしょう。しかし、教会では激しい話し合いに慣れていない人が多いし、役員をすること

も珍しくありません。この問題は二つ分けて考える必要があります。一つは、教会の未来に関心を持つ数人の信者がたまたま個人的に話す場合です。こういう場では、互いに相手を見ながら、議論モードで話してよいかどうか判断するしかないでしょう。親しい人同士なら、「今日は議論モードで話させてください」と了解を求めてもいいかもしれません。もう一つは「会議」ですが、この場合は、司会者の役割が大事です。それは次回。御受難修道会 宗像修道院長

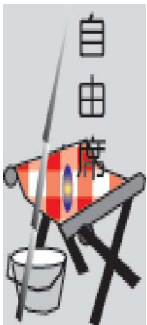
ちょっと一息



留守電にエッと何度もきき返すつき合いのうまさどこにかくし味

坂牧春妙 深堀正平

7月6日と7日、宗像市の福岡黙想の家で福岡、北九州、久留米、熊本から約20人が参加して「召命を共に祈る」黙想の家が行われました。黙想の家の来住英俊神父様、教区召命担当の浦川務神父様による講話、十字架の道行、召命のための祈り、ミサが行われました。



けであるが、実際にその人に呼ぶかけるのは、周りの司祭や修道者、家族であることが多いので、この人は司祭に向いているのでは？と思う人がいたら積極的に声をかけることが大切と話されました。また浦川神父様は、ご自分の召命、司祭になったきっかけについて話されました。今回の黙想会を終えて、召命のためには、祈りと積極的に呼びかけを行うことが大切だと認識しました。福岡教区に豊かな司祭・修道者のお恵みがあるように、皆で祈り、呼びかけましょう。木下翔（求道者）

は、この人に司祭になってほしいと思う人のことを思い浮かべながら祈ることが大切。召命は神様からの呼びかけ

2008年(平成20年)度 福岡教区本部 資金収支計算書		
《収入の部》		
科 目	決 算	摘 要
神学校援助金	25,546,544	
神学校援助金	25,546,544	神学校後援会費(月、1口300円)
寄付金収入	25,512,100	ザベリ財宣教会、コロンバン会、宮原司教様
特別献金	681,980	
広報活動献金	681,980	教区報広告代
分担金収入	51,011,254	
小教区分担金	48,141,735	教会維持費、ミサ献金の総額15%
租税公課分担金	1,013,719	幼稚園、教会法人税等
その他分担金	1,855,800	小教区負担金、ハンドブック、研修会費等
資産運用収入	19,065,935	
受取利息	18,935,185	預金利息、債権配当金等
電柱敷地料	112,750	
資産利用収入	18,000	
繰入金収入	29,976,590	
小教区繰入金	3,515,000	謝礼、報酬等の課税されるものを給与所得に組み入れる為
幼稚園繰入金	110,000	
納骨堂繰入金	80,000	
本部会計繰入金	20,000	
教区内貸付金回収	14,700,000	
人件費分担金収入	11,551,590	
収入合計	151,794,403	
前年度繰越金	36,103,111	
経常収入合計	187,897,514	
《支出の部》		
科 目	決 算	摘 要
教区宗教活動費	53,823,603	
祭儀行事費	9,466,779	着座式・黙想会謝礼・葬儀・叙階式等
司祭研修会費	3,524,927	黙想会等
宣教広告費	3,150,254	教区報・写真代他
教育育成費	655,000	信仰教育・聖書委員会等
教育養成費	1,247,141	長崎神学院分担金
諸会費	107,000	教戒師会他
会議費	352,627	各種委員会会議参加費等
中央協議会分担金	3,100,000	
神学生養成費	17,836,125	大伸学院分担金
助成金	14,383,750	美野島、島崎・大名町教会修理等
教区管理費	40,605,782	
消耗品費	1,527,139	
消耗備品費	118,435	
通信費	1,704,066	
旅費交通費	2,152,776	職員交通費、高速代、JR・航空運賃等
印刷諸費	211,995	
自動車諸費	2,020,702	
水道光熱費	3,455,244	
交際接待費	959,638	
修理費	157,320	
営繕費	6,551,700	姉妹会・門司教会石垣修理、皿山・司教館司教様部屋等
賃借量	3,150,892	
委託手数料	5,809,190	会計事務所、弁護士、労務士、司法書士等
租税公課	3,786,300	消費税、法人税、市民税、固定資産税等
損害保険料	658,370	
雑費	68,700	
教区内貸付金	8,273,315	吉野幼稚園旧園舎解体、土地整備
人件費	63,914,866	
司祭給与	22,223,000	13名分
職員給与	31,304,000	職員・パート18名(姉妹会シスター、プラザー含む)
法定福利費	5,187,866	社会保険事業主負担分・労災保険等
人件費分担金	5,200,000	ザベリ財会へ(4名の給与を本部へ)
繰入金支出	1,707,000	
小教区繰入金支出	1,707,000	
支出合計	160,051,251	
次年度繰越金	27,846,263	
経常支出合計	187,897,514	

参加者募集中

奉獻生活者のための黙想会

◆ 9月14日(月) 16:00受付 ~21日(月) 朝食後終了
現代の教会と奉獻生活(修道生活)を考えます。
【費用】指導料込みで 50000円／指導：来住英俊神父

カトリック福岡黙想の家

聖堂／洋個室(洗面トイレ付)／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

PRAYER GROVE
MUNAKATA

ミサ用ワイン

ヴィノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社

T E L 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

今年で、来日75周年、福岡教区開設60周年を迎えた聖パウロ会では、去る6月30日、赤坂のサン・パウロにて聖パ



聖パウロ会、福岡開設60周年

ウロ共済会のメンバーをはじめ近隣の司祭、修道者も多数集い、その喜びを分かち合った。

最初に聖堂にて聖体賛美式が行われ、説教の中で、鈴木信一神父（パウロ会）は、「ちょうど60年前、かつての小笹の修道院開設のため、戦後で荒れ果てていた土地を米軍のブルドーザーを借りて整地した。しかしそのブルドーザーは実は、サン・スルピス大寺院が借りていたもので、神学院に届かずにブルドーザーを全部、途中小笹に止めて一日で整地させてしまった」とユーモラスに述べた。

小教区と教区の仕事に走り回っていた日常から一変、イタリア語を学ぶ学生生活になつて2ヶ月以上が経過しました。イタリア語は全然上達しませんが、カトリックの中心国の信仰の姿を観察するという、ある意味お恵みの時を過ごしています。

祭シリーズ ⑤

「ペルージャから」

一つの教区で今お世話になっていますが、ここは、ペルージャで2番目くらいに信者が多いらしく、信者数は1万人を超えているんだとか！しかし、信者数に比べると、聖堂は小さく感じます。そのためか、主日は土曜日夜と日曜日午前2回と夕方の合

さらに「来日後、お金の工面のため、古着を世界中から集めてきたが、それが当時飛ぶように売れ、その収益で聖パウロの出版や放送事業が開設出来たが、それで当時は聖パウロ会ならぬ『ボロ会』と呼ばれていた」など、戦前戦後の混乱期を生き抜いて来た会について、終始微笑ましいエピソードとともに語った。

また、場所を移して修道院の3階で行われた祝賀会では、共済会のメンバーによる聖歌のメドレー、またお祝いに駆けつけた大神学生によるプロ顔負けの歌の披露などもあり、なごやかに聖パウロの祝日を祝った。



イタリア語勉強中の司祭たち（前列右大分教区の平田神父）

史的・様々な事情があるのも事実でしょうが。でも、一番の理由は、それだけ信者がいるからです。カトリック信者が全人口の1%にも満たない日本と違い、イタリアは95%が信者です。ペルージャの町が一つの教区で、25の小教区があり、その人口は15万人以上です。となると、これでも教会が足りないのではと感じます。この感覚の違いに、まず気づかれました。イタリアの人にとっては、信者がそんなに少ない世界が想像できないそうです。

計4回のミサ、平日も朝と夕方の2回ミサがあり、これはどこの教会もほぼ同じだと思います。こうしないと、信者が集まりきれないわけですね。このような教会を80歳を超えた主任神父様が一人で司牧しています。よく言われるように、イタリアも再宣教が必要、つまり教会離れが少し進んでいるのも事実で、ミサにあずかる人の少なさを感じます。そのような中、自分は高齢だとか泣き言一ついわずエネルギッシュに働く神父様をみて、日本の自分の働きを見つめ直させられています。イタリアでも司祭任命が減りつつあるのも事実です。ペルージャが属するウンブリア州の司教協議会には、人口約81万人に対し、教区で働く司祭養成のための大神学校は一つだけ、神学生は現在20人位だとか。召命の減少、司祭職の尊厳とその役割の見直しは福岡教区、日本の教会だけでなく、先進諸国共通の課題だと言われるのが理解できます。

パウロ 田中重治神父

近頃の若いモンは

—青年による青年事情通信—

色



平野 恵さん

「もつと早くに青年活動していればよかった」と語るのは、今春大学を卒業し社会人になったばかりのマリア・



保育施設長研修会開催

7月1日、3日、JALリゾートシーホークホテル福岡（早良区）に於いて、日本カトリック保育施設協会全国施設長研修会が九州ブロックの担当で開催された。

「神さまからの愛」カトリック保育園の使命をテーマに、東北から九州まで99人が一同に会し、3日間有意義な学びを行うことができた。1日目は、宮原良治司教によるミサ、そして「カトリック保育園にのぞむこと」と題

アスンブタ平野恵さん。昨年の四旬節に行われた地区青年黙想会で教会の青年たちと出会い、その後は中高生キャンプ（FYCC）、NWM（ネットワークミーティング）、WYD in Japanと内外の青年活動へ積極的に参加した。「私にとって信仰は、いろんなことに挑戦できるという確信で、失敗しても自分の益になると信じられる」。その大きな瞳はいつも好奇心でいっぱい。

そんな恵さんも中高生時代は教会よりも、部活や友達と過ごす時間を優先していた。こうして大学へと進み、この時プロテスタントの牧師を通じてキリスト教諸派の青年たちと共に聖書の勉強をする機会に出会った。この体験が「神様って何だろう」と考えるきっかけとなり、プロテスタントの青年たちとの交流を通して「日本の社会を変えてもらいたい、神さまの望む心、計画に添うような社会になつてほしい」と、そのために必要な人間作りが保育園の最大の使命、役割です」と語った。

2日目は、一日を通してカトリックの精神を生きて、「共同体作りと戦略計画」：協働者と共に生きる使命のために「をテーマに、シスター古木涼子（宮崎カリタス会会員）によるプランニングワークショップが行われた。命令型から参加型へ。一人ひとりみんな違い、その違いは多様性であり、豊かさであると思えるように自分を訓練する必要がある。ヴィジョン（夢）のない保育園は堕落するだけという話を聞いた後、ヴィジョン・ミッションの作成を行い、いくつかの質問に対しての自分の答えを出しながら、各グループでそれについて分かち

して「自分と同じカトリックの青年にも会ってみたい」と希望するようになった。現在の恵さんは来年2月に予定されている「NWM福岡」の準備スタッフとして活躍中。「召命と感謝」というテーマをスタッフ同士で何度分かち合い、深めてきた。今はこの内容をNWMで福岡を訪れる全国の青年に、どのように広め、分かち合うかの段階にきている。

自分の今を漢字に例えるなら「色」と答えた恵さん。「色んなこと、色んな人、色んな自分に出会いたい。そして自分の色を見つけたら、それをみんなにあげられる大人になりたい」。そんな彼女の一番近い将来の夢は「自分の小教区の中高生会を盛り上げていくことです！」と笑顔で話す。笹丘教会 青年信徒

☆マザーテレサ100の言葉

ヴォルフガング・バーダー 著
山本文子 訳

マザー・テレサの言葉は、とても単純で、ある時は驚くほどきびしいものもあります。しかし、その言葉は読む人の心に深い感動を与え、その人の生き方さえ変えてしまう力を持っています。

女子パウロ会 発行
税込定価 1260円

☆ヨハネ福音書を読む

聖書シリーズ7
京都司教区聖書委員会

各教区や修道会から講師を招いて行われた聖書講座から六講座を抜粋して収録しました。聖書の勉強のヒントになれば幸いです。

サンパウロ社 発行
税込定価 1470円

☆心だけは永遠

ヘルマン・ホイヴェルス
神父の言葉
土居健郎・森田明 編著

その霊性と深い日本理解によって生涯を日本の宣教に捧げたホイヴェルス神父。その珠玉の数々の言葉、その人柄に出会える1冊。

ドン・ボスコ社 発行
税込定価 693円

不動産全般/売買・賃貸・管理

なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
<http://www.inuka-japan.com/>

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

総合建築業

- 一般住宅（新築・改築工事）
- 鉄骨工事
- RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**
ヨゼフ 森山 森山 新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール FUKUOKA

キリスト教書局、信心用具、ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大宮2丁目6番町カトリック教会1F
平日 AM 10時～PM 5時40分
日・祝日 AM 11時～PM 4時（休館日定休日）
TEL 092-741-3688 FAX 092-741-3601
URL <http://www.psa-inc.co.jp>

み国が 来ますように！

福岡黙想の家ご案内 8月・9月

◇31日(金)～9日(日) 福音の光修道会黙想
 ◇10日(月)～17日(月) ヨハンの幼きイエズス修道会黙想
 ◇17日(月)～23日(日) サレジオ会黙想
 ◇25日(火)～26日(水) 明治学園職員黙想会
 ◇29日(土) 福岡チェナクルム
 ◇30日(日) 紫苑com.スピリチュアル研修会
 ◇30日(日)～4日(金) オブレート会黙想

9月
 ◇7日(月)～12日(土) レンブートル会黙想
 ◇14日(月)～21日(月) 奉獻生活者のための黙想会
 (来住神父指導)

◇19日(土)～20日(日) 聖マリア在俗会黙想
 ◇21日(月)～22日(火) 九州アシュラム修養会
 ◇26日(土) 福岡チェナクルム
 〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
 ☎0940・32・3222 ㊟32・3385
<http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm>

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ：聖パウロについて

レクツィオ ディヴィーナ

・日 時：9月10日(木) 10時～15時半

・内 容：聖パウロの書簡 I

指 導：フランコ・ソットコロノラ神父(真命山院長)

ダニエレ サルツィ・サルトリ神父

園田善昭神父／Sr. マリア デ・ジョルジ

問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター

☎0968・85・3100 ㊟0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
 1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カトリック教会のカテキズム

日 時：2009年9月27日(日) 15:00

場 所：カテドラル大名町教会

講 師：櫻井尚明神父(大名町教会主任)

資 料：カトリック教会のカテキズム

次 回：10月25日(日) 15:00

2009年度北九州地区聖書講座

メインテーマ：いただきます

～神のことばを食べる～

日 時：10月11日(日) 14時～16時半

場 所：カトリック戸畑教会

講 師：森山信三神父(西新教会主任)

主 催：北九州地区信徒協聖書部会／

教区聖書委員会

日本カトリック平和旬間

◆福岡地区

例年のカテドラルでの平和集会は行われな
 い。各小教区で独自の平和旬間を記念する。

◆第9回北九州地区平和の集い

テーマ：伝えよう、子どもたちへ、いのちの尊さを

・午 前：各小教区で平和ミサ

・午 後：カトリック小倉教会 13時から
 *子どもと大人が平和を共に祈るひと
 きを持てるように、子どもたちが参加
 できるよう工夫をお願いします。

・献 金：いのちを守るための緊急募金
 (カリタスジャパン)

・主 催：平和の集い実行委員会

福岡教区広報室アドレス

E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

8月のこよみ

案内板

会合と催し

9月のこよみ

2日(日) 年間第18主日／馬渡島教会堅信式
 3日(月) 福岡地区司祭集会(吉塚教会)
 4日(火) 聖ヨハネ・マリア・ピアンネ司祭
 5日(水) 広島平和祈願祭ミサ
 ↑ベトロ平田三郎司教〔2007年第4代教区長〕
 6日(木) 主のご変容／日本カトリック平和旬間(～15日)
 平田三郎司教命日ミサ(浄水通教会7:00)
 7日(金) ドミニコ宮原司教霊名の祝い(カテドラル11時)
 ↑J・P ラベル〔2004年サン・スルピス司祭〕
 8日(土) 聖ドミニコ司祭
 9日(日) 年間第19主日／北九州地区平和の集い
 教皇庁諸宗教評議会議長懇談会(長崎)
 長崎平和祈願祭ミサ
 15日(土) 聖母の被昇天
 岩永義人神父納骨式(和田墓地14時)
 年間第20主日／北九州墓地ミサ
 16日(日) 教区召命学校／↑堤要吉〔2002年浄水通教会〕
 18日(火) 福岡教区幼児教育連盟研修会(唐津：～20日)
 19日(水) ↑L. デンヤンブ〔2001年八王寺〕
 20日(木) ↑D. グリフィン〔2001年玉名教会〕
 21日(金) FYCC 7(大神学校：～23日)
 22日(土) キリシタン研究会(健軍教会)
 23日(日) 年間第21主日／
 北イタリア宣教師家族訪問(～31日)
 27日(木) 福岡地区婦人会感謝ミサ(カテドラル)
 29日(土) 洗礼者聖ヨハネの殉教／聖アウグスチノ祭(笹丘)
 30日(日) 年間第22主日／↑J. ガイヤール〔2007年八王寺〕
 *ゴチック文字は、司教日程

1日(火) 福岡地区婦人会研修会
 教会行政法制委員会(東京)
 2日(水) 常任司教委員会
 3日(木) 長崎教会管区司教司祭代表者会議(長崎)
 4日(金) 年間第23主日／新田原教会訪問(召命講話)
 6日(日) ↑牧山重光〔2005年門司港教会〕
 8日(火) 聖マリアの誕生／司祭評議会(司教館)
 10日(木) 日本205福者殉教者
 ↑J. バーク〔2000年崎津教会〕
 12日(土) ↑A. セトアイン〔2003年泰星学園〕
 13日(日) 年間第24主日
 南柏谷教会創立50周年ミサ・堅信式
 マドンナ会講話(大名町教会)
 17日(木) 年間第25主日／浄水通教会堅信式
 20日(日) 聖マタイ使徒福音記者 敬老の日
 21日(月) 熊本地区リーダー研修会(根子岳山荘～22日)
 22日(火) 青年黙想会(大神学院：～23日) 国民の休日
 23日(水) ↑J. バイヨ〔2004年光丘教会〕 秋分の日
 25日(金) 函館トラピスト修道会大修道院長叙階式
 27日(日) 福岡教区カトリック学校理事長校長長研修会(熊本)
 年間第26主日／世界難民移住移動者の日(献金日)
 茶山教会堅信式
 28日(月) 聖トマス西と15殉教者
 朝拝会
 29日(火) 聖ミカエル・聖ラファエル・聖ガブリエル
 10月
 2日(金) 初金曜ミサ(浄水通教会10時)
 4日(日) 年間第27主日／若松教会堅信式
 *司祭の命日は2000年以降からお載せしています。

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：9月5日、9月19日 第1・第3土曜日 10時～12時
 場所：カトリック大名町教会小聖堂
 *基本的に第1・第3土曜日。変更の場合もあります。

この夏、若もののプログラム

◆FYCC 7に参加しよう！

テーマ：『一緒にうちへ帰ろう』

日 時：8月21日(金)～23日(日)

場 所：日本カトリック神学院福岡キャンパス

参加費：4500円(兄弟割引あり)

対 象：福岡県内の中学生・高校生

問合せ先：e-mail:fycc7.together@gmail.com

☎092-741-3687(大名町教会：十時神父)

代 表：豊嶋 玲(大名町教会)

主 催：福岡地区青年会

◆福岡教区青年黙想会

テーマ：「司祭のよろこび」

日 時：2009年9月22日(火) 13:00

～23日(水) 昼食後

場 所：カトリック神学院福岡キャンパス

対象者：18歳から40歳の司祭・修道者の召命

を考える青年男子

参加費：2000円

申込・問合せ先：

浦川神父(☎0942-32-8011 久留米教会)

■小倉祈りの集い
 (日時) 8月21日(金) 13時半
 から15時(場所) カトリック
 小倉教会信徒会館2階(指導
 ガブリエル神父(御受難修道
 会(内容)『みことばを味わ
 う』賛美と感謝の祈り(連絡
 先) ☎0900・3985・5
 209 松田裕子
 ■北九州召命を共に祈る会
 (日時) 9月10日(木) 14時か
 ら(場所) カトリック小倉教
 会(内容)召命御ミサ及びミ
 ティング(司式・指導)伊東
 成晃神父(門司教会主任)(問
 合せ先) ☎0903・963・
 2359 江口

■福岡祈りの会
 (日時) 毎週月曜11時から12
 時30分(場所) 大名町教会1
 階(内容) 賛美と感謝の祈り・
 聖書の分かちあい(代表) Br
 床嶋(問合せ) ☎092・5
 21・2503 蓮尾
 ■「紫苑 com」心のセミナー
 (日時) 8月30日(日) 14時か
 ら(場所) 福岡黙想の家2階
 会議室(お話し) 小宮豊氏(精神
 神経科医師)／来住英俊神
 父(カトリック福岡黙想の家
 院長)(参加費) 会場内自由
 献金(コーヒーとお菓子つき)
 (問合せ先) ☎0940・33・
 2731 吉永

■福岡結婚準備講座
 (日時) 9月5日(土) 18時半
 から(場所) 戸村
 に。ミサと学習(指導) 戸村
 悦夫神父(問合せ先) ☎09
 2・843・5831 岩崎
 ■第52回福岡典礼聖歌研修会
 (日時) 9月27日(日) 13時半
 から(場所) 佐賀カトリック
 会館(内容) ミサと祈り(次回
 9月19日(土) 毎月第3土曜
 日。どうぞご参加下さい。(問
 合せ先) ☎0952・30・
 8347 吉武

■美野島司牧センター
 ホームレス支援のための毎
 週火曜日10時半から炊き出し
 等への協力をお願いします。
 (問合せ先) ☎092・431・
 1419 コース・マルセル
 神父
 ■熊本結婚準備講座
 (日時) 9月5日(土) 10
 月3日(土) 19時から21時半
 毎週土曜日全5回(場所) カ
 トリック手取教会(参加費)
 カップルで一万円(問合せ先)
 ☎096・352・3030
 ☎096・352・1515
 ☎096・352・71
 81 Sr 竹内

◆佐賀
 ■佐賀祈りの集い
 (日時) 8月29日(土) 10時
 から12時(場所) 佐賀カトリック
 会館(内容) ミサと祈り(次回
 9月19日(土) 毎月第3土曜
 日。どうぞご参加下さい。(問
 合せ先) ☎0952・30・
 8347 吉武

編集後記

皆様、日食はごらんになれ
 ましたか。歴史的な時でした
 ね。動物や小動物は私たちよ
 り敏感に自然の移り変わりや
 異変を感じるものなのです
 ね。また、どんなに科学が発
 達しても神様が造られた自然
 の前に人間は無力であるとい
 うことも実感しました。さて、
 衆議院選挙が始まります。私
 たちの国は、どのような方向
 に向かうのか。それは、有権
 者である私たち一人ひとりの
 選択にかかっています。神の
 導きを祈りながら、この国の
 政治をしつかりと見守ってい
 きたいものです。来月号はお
 休みです。どうぞよき休みを
 過ごされますように。

COSMOS
 スポーツ用品・OA・文具 **コスモス**

〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3

TEL 0942-77-3199

代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 聖の聖母会

聖マリア病院

救急救急センター

総合医療センター

地域医療支援病院

内科・外科・小児科・婦人科

★入院費無料(保険適用)

〒830-1243

福岡県久留米市幸徳本町45-1

TEL 0942-38-1111(内線)

FAX 0942-38-3113

http://www.smaria-hospital.co.jp

一部に個室があります

(医師・看護師等)

(夜間診療) 24時間

天然素材の
健康住宅

大地・海・山の恵みを取り入れ優れた素材を

そのままデイスカウトした住まいづくり

有限会社 **ナガシマ建築工房**

社長 ヨゼフ 長島樹夫

福岡市早良区飯倉8-10-17 TEL:092-871-0063

【ナガシマ建築工房 福岡】 検索

サンパウロ福岡宣教センター

永井隆に
 愛と平和

を考える (この夏、永井隆の本を読んでみませんか…)

1階 聖書・信心書・聖人伝・リリ外関係・絵本・一般書等

2階 家庭祭壇・十字架・ガリイ・ご像・ご絵・CD・DVD等

営業:10:00~18:00*定休日:日曜日・祭日・8/14~16*駐車場完備

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26

TEL:092-721-2032 fax:092-739-3930



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
電話 092-522-4059
編集人 森山信三
TEL 092-523-2152
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

10月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】日曜日と感謝の祭儀
【宣教】宣教の精神
【日本の教会】日本における
福音宣教の推進

南粕屋教会創立50周年を祝う

9月13日、吉塚教会（硫黄隆二主任司教）の巡回教会、南粕屋教会が創立50周年を盛大に祝った。当日は宮原良治司教、近隣の司教団の臨席のもと、16人が堅信の秘跡を受け、喜びに花を添えた。1983年移転新築を決議して建設委員会を発足させてから11年目の1994年12月11日、志免教会が南粕屋教会として誕生した。



昭和30年代初期、吉塚地区近辺には、本教会である吉塚

9月8日（火）、第2回司教評議会が行われた。

2009年度は教区の最優先課題として召命があげられているが、まずは召命部会からこれまでの取り組みの報告があった。小中高生そして、青年のレベルでの錬成会や黙想会が企画され、一定の成果があった。次年度も教区として、召命、特に青少年の司牧を中心に据えて取り組んでいくことが確認された。現在

福岡地区青年会は活発に活動しているが、彼らから直接召命が生まれないのはなぜか、青年たちに司教職を勧めるばかりではなく、まず彼らの考え、思い、興味にじっくり耳を傾ける必要がある、また、合同後の神学生には、所属の司教や司牧が社会問題に熱心で、司牧者が真剣に社会と向き合っている姿が召命につながっていることを考慮し、司祭たちの真摯な姿が要求されているという指摘もあった。また、宣教司牧評議会の立ち上げの件では、教区全体の位置づけ、規約の問題、目的などを司教団の地区レベルで

ようやく一人前となった。聖堂には鐘楼もあり、澄んだ鐘の音が聞こえていた。一時期信徒数が減り、2・3家族にまで減少した時期もあった。転入者や受洗者も少しずつ増え、神さまのなさることの不思議さを実感した。次第に古い聖堂のいたみが目立つようになり、壁が落ち、敷居がゆがむなど、その都度修理をしながら新しい教会を目指すようになった。話し合いを重ね、資金を積み立てることに

なり、バザーや廃品回収を始めた。一時は福引券売場等、随分他教会の方々にもご協力いただき、宮々と続けた資金蓄積の結果、松永司教様の認可をいただき、1994年現聖堂が完成した。南粕屋教会初代主任司教フレーザー神父は、スラボロ宣

協賛し、立ち上げに向けて時間をかけて歩んでいくことが確認された。最後に司教から、長崎管区の司祭年の取り組みとして、叙階後間もない司祭、同時に20年、30年のキャリアの司祭の生涯養成コースが検討されていること、また滞り外国人の宣教司牧のためフィリピンからサントス神父（神言会）が近く来日し、召命の家を拠点として教区内の司牧に携わっていただくこと、また韓国から2人ほど神学生の候補者を受け入れる予定であることなどが紹介された。

第26回教職員研修大会



カトリック学校の窓

教会であつたが、その後、数名の邦人司祭、そして現在はオペレート会が司牧に当たっている。炭鉱の盛衰など激動の社会情勢を経て、現在は都市化が進み、人口も増えているこの地域において、信徒が一つになつてさらに100年目に向かい、地域のために大きく貢献する共同体が期待される。

新型インフルエンザの流行を恐れながらの2学期の始業は、全体集会ではなくクラスごとになりました。長期休暇明けの生徒の顔は、大変重要です。毎日が作り上げる顔、表情に生徒の心が見え隠れします。で、できれば、一人ひとりの顔を見たかったのですが。ところで、私立学校の良さの一つに、卒業後に友人と学校を訪れる楽しみがあります。母校に立ち寄った

カトリック福岡司教区幼児教育連盟は、第26回教職員研修大会を8月19日から20日まで、唐津シーサイドホテルにて360人の教職員を集めて開催した。今回のテーマは、「生きよう、神さまの愛の中で」神さまといつも一緒に。講師は、内田美智子師（助産師・「いのちをいたく」の執筆者、山元眞神父（行橋教会主任）が務めた。内田師は、生の反対は死ではなく、「生まれないこと」と定義され、「子どもは皆、生きるために生まれてくる。しかし、生きることをゆるさ

れずにこの世に生まれてくる小さな生命もある。」と言われ、助産師として何千に及ぶ赤ちゃんを取り上げて来た経験から、普通に生まれるということがあたり前ではなく、どれほど尊く感謝すべきことであるかを語った。また、「よく、子どもたちが変わったと言われる。30年前と人間は何も変わっていない。変わったのは、大人と大人が作り上げた社会だ」と言われ、子どもたちに母親が作ったものをきちんと食べさせること、いわゆる「食」の大切さを力説された。2日目に講師として立った山元神父は、カトリック「普遍」の意味について具体例や映像を使って、分かりやすく語った。参加者には、「幼稚園教諭という仕事の尊さを改めて実感しました」というものや、「生きていることは、生かされていること、そのことにひたすら感謝したいです」などと定議され、「子どもは皆、生きるために生まれてくる。しかし、生きることをゆるさ



帰天した岩永義人神父 和田墓地へ納骨

8月15日は、各地のカトリック墓地で追悼式や納骨式が行われた。福岡地区の和田墓地では今年2月12日に帰天されたラウレンシオ岩永義人神父や数人の信徒の納骨式も行われ、司式者の声も聞こえないほどの豪雨の中に300余人が参列、故人を偲んだ。

希望をくれた青年たち



例年、平和旬間中に北九州13教会は平和の集いを行う。今年のテーマは「伝えよう子どもたちへ、いのちの尊さを」。会場の小倉教会には、

言葉が一同からあふれる研修会となった。夕食の懇親会では、とび入りの歌手やエンタ

元生徒を教職員が温かく迎え、時にはお茶をいただきながら、近況を報告し合い談に興じます。在校時とは違って、休暇のたびに顔を見せてくれる者もいます。この夏は新築移転した校舎への興味関心が強かったのでしょうか、多くの卒業生が立ち寄ってくれました。名前や部活動での活躍を覚えていたこと、進路先を案じていることが伝わり、嬉しいようです。このように、どこへ行っても、何をしても、いつになっても、自分のことを家族のように、あるいはそれ以上に思つて、折りで支えられ

ていることの喜びを実感できることが、ミッションスクールの良さでしょう。縁あって「呼び集められたもの」が学園に学び、仲良く過ごし、同窓会で再会します。家族的な雰囲気を保ちながら、特に創立100周年を迎える今年は、高齢の方から卒業したばかりの100歳までの顔が揃います。年輪の刻まれた深い微笑みを湛えた顔、若くて美しい笑顔が、懐かしさと後輩への思いを運んで来てくれます。八代白百合学園高等学校 シスター・谷口 貞女

8月18日に亡くなった韓国の金大中元大統領の葬儀がソウルの大聖堂で行われ、チョン枢機卿が元大統領を賞賛したことがカトリック新聞でも報じられた。（9月6日付）▲金元大統領は、1980年の軍事クーデターにより、軍法会議で死刑の判決を受けた。二年以上にわたる獄中生活中に家族に宛てた30通に及ぶ書簡が出版されている。彼はこんなことを書いていた。「どれだけ多くの聖職者や信者たちが、自分の人間的な弱さや信仰上の疑問を他人に見せることを恐れ、自分を欠けることのない信仰者として示さねばならないという脅迫感のもとに生きていたことでしょうか。」「私たちは完全であるためにクリスチャンになったのではなく、不完全であるため神により頼むようになったのです。」▲彼がこのような言葉を書き残した理由は、民主化運動の指導者でありながら、何度も捕らえられ、苦しめられ、徹底的に抑圧されたゆえであろう。そして、その自らの境遇をゲッセマネと十字架のイエスに重ねたときにこのような言葉が生まれた。そして彼自ら弱さを認めるが故に立派な指導者たり得た。▲今回の衆議院総選挙は、民主党の歴史的な大勝であった。多くの国民が、政界に新しい風を望んだ。力による政治、利権のつきまとうような政治ではなく、力のない者、弱者が尊重される政治が行われることを祈りたい。そのためには、議員自らが民衆の叫びを代弁し、自ら弱きを知る者であつてほしいと願う。同時に私たち信仰者にも同じ姿勢が求められるであろう。M





09年夏季召命学校

「わたしたちの教会
わたしたちが教会」

小林 郁人



2009年夏季召命学校参加者

「召命学校に行かない？」と教会と一緒に侍者をしている子からさそわれました。こんなさそいにはいつもなやまばくも、すぐに「行く！」と言いました。

ぼくは、この7ヶ月の間にいろんなことがありました。去年の11月に大好きな長崎の

教会の会議を
向上させたい(6)

自由な「分かち合い」だけでは、教会の未来を切り開いていくことはできない。共同体の方向を定めるためには、

ジョージが帰天しました。このことなどがあって、4月に洗礼と初聖体を受けました。7月からまだ立っているだけだけ侍者をしています。

新田原教会では、とう着するとすぐにみなさんがはく手でむかえてくれました。そして、朝と夕方に『あめのきさき』が流れていてすてきでした。今年の召命学校のテーマは、「わたしたちの教会、わたしたちが教会」でした。

①自分の思っている教会とは？、②自分たちは教会になにをしてきたか、③ほかの人はなにをしているか、④神父様は、どんな人か、⑤司祭にできてわたしたちにできないことは、の順に書いたり話し合ったりしました。この話し合いでは、この話し合いでよくはこれからはもっとみんなのために働いていきたいと思えました。まずは侍者としてできることを増やしていきたいです。

食事を作ってくれたり、新田原産のおいしい野菜や果物をたくさん持つてきてくださった方々、ありがとうございます。召命学校に参加したことは、ぼくにとつてとても

「会議」によって意見を集約することが必要である。しかし、会議は難しい。時間がかかるわりに大したことができないという欲求不満を多くの人が感じている。私の考えるところ、最も重要なのは司会者（進行係）の技量である。にもかかわらず、現状は司会者がほとんど機能していないのではないかと。司会者の役割は、まず論点の交通整理である。次に、「話しすぎる人」、「脇道にそれる人」を抑え、「話さない人」に話してもらうことである。

「論点の整理」ができる司会者はある程度いる。しかし、第二の仕事ができる司会者は非常に少ない。これには明

いい経験になりました。5年生

「司祭になる」決心を
新たにできた夏

萩原 直人

最初とても召命学校に行くのは緊張して、ドキドキしました。でも、新田原教会に着いてレクリエーションの時、色んな人達と関わって仲良くなれました。この後は、聖堂

に行つて宮原司教様の「太郎君の請求書」という話を聞きました。心に残るいい話でした。次にみんなで作業をしました。この作業では、「私たちの教会、私たちが教会」ということをテーマとして各クラスで考えました。夕食後、ピアン神父についてお話を聞きました。ピアン神父は勉強が出来ず、神学校を退学したと聞いて、ぼくもびっくりせねばと思いました。貧しいのに、カリスや祭服にお金をいっぱいつぎこむなんて、ぼくが司祭になつてもできないなと思いました。また、食事が少なすぎてとても真似できないな、と思いました。二日目は、新田原教会のミサにあ

断な頭脳だけでなく、気力が必要だからである。現在の日本では、会議中に人の話を遮ることは、非常に攻撃的なことと感ぜられる。だから、ほとんどの司会者は発言者に話したいだけ話させて、終わったら「他にどなたか？」と尋ねるだけである。「○○さんはもうだいたい話されましたからね」とか、コントロールすることをしなさい。このコントロールは信徒同士では難しい。信徒が発言者を遮つて、それでも抵抗を引き起こさないのは、衆目が一致して聖人と認める人だけ

ずかり、その後、みんなで行く川の川まで遊びに行きました。川はとっても冷たくて楽しかったです。教会に帰つて来てミサについて学び、ミサの大切な改めて実感しました。その後修道院に行きました。ここでは神学生一人ひとりのために祈る人がついてくたさつていて聞いて、これからの心のはげみになりました。

とうとう、最終日が来ました。今までやつてきた作業を発表します。ぼくは、発表の時「これからの教会のためにできること」で、ぼくは、司祭になつてミサをする、そのために神学校を辞めたいと言いました。ぼくは、この言葉をおぼれないうちにしていきました。ぼくは、ここで学んだことを忘れず、そして新田原教会でよくしてくれた人達や、信者の人への感謝のことを忘れずこれからも神学生としてがんばつていこうと思

(南山中学 1年生)

「お家に帰ろう」つて

FYCCが言ってくれた

かもしれない。ここに司祭の役割がある。まだ個人的な希望がない若輩であつても、司祭なら「○○さんちよつと黙つて」と言つても、それほどの抵抗を引き起こさないだろう（たぶん）。この意味での司祭の「権威」はカトリック教会の財産である。大いに活用すべきである。もちろんその反面、教区司祭を育てる大神学校では、司祭養成プログラムの一つとして、司会の技術を研修してほしい。とは言え、司祭は司会をしているだけでいいのか？それが次の問題である。御受難修道会

宗像修道院長

小浜 和貴



8月21日から23日までFYCCに参加しました。

最初のレクリエーションでは、近くの小学校の体育館を借り、汗びっしょりになるまで体を動かしました。体験学習では「おうちに帰ろう」というテーマで学習を進めて行きました。この「おうち」と言うのは教会の事で、中高生の参加者に、最初神父様が30分ほどお話をしてくださいました。「一歩踏み出して教会に行ってみなさい。きつとそこにあなを必要とする人がいる」。神父様のこの言葉は僕の心に染み渡りました。

講話の後の分かち合いでは、僕の教会に対する見方が大きく変わりました。僕は今までたまたま何となく教会に行つていました。しかし、体験学習を通して、これからは誰かに喜びを与えられるような人として教会に行きたいと思うようになったのです。そして2日目の夜、全員が集つて、発表会が行われました。発表の形は様々でしたが、ほとんどの班は劇をしていました。どの班も面白く、何かしらのメッセージが伝わってきた発表でした。今回僕は最初仲間づくりができるか不安でしたが、と言うのは、僕は自分一人では知らない人に話しかける事ができないほど人見知りだからです。しかし、レク

レーション、食事の時間、自由時間を通してだんだん仲間と仲良くなり、とても楽しい3日間を共に過ごすことができました。最終日には、皆が別れを惜しみました。仲間との出会い、これもFYCCの素晴らしい事です。僕はこのような素晴らしい出会いを与えて下さった神さまに感謝しています。この出会いを大切に、この友情の輪を切らさないようにしたいと思います。

(笹丘教会 高校2年生)

平和

上大川 富士男

戦争がない、争いがない、だから平和であると考えた。今の感覚は、狭義的である。もう少し広義に思いを巡らした時、家庭、職場、学校、町、教会などから平和を築く努力をすることが肝要であると思

解される。平和を築くことは、人間がなさねばならない仕事であり、同時に神からの恵みでもある。少数の人々が他の人々を武力によって抑圧して得られた平和でも、支配者たちの強制によって作られた平和でもない。人間一人ひとりが、心からの交わりのうちに認め合った結果生じた平和でなければならぬ。

『平和』という語は、イスラエル人にとっては、すべてのよいものの総括を意味していた。満たされた日々、人々の心の一致による喜び、神との調和、そこから生まれる夢と希望の未来全てが平和という一語にまとめられている。現代に生きる私たちは、単に受身で平和を待つのではない、積極的に構築する努力をしなければならない。そのた

めに身近なところから心がける必要がある。まずは、両手を広げる、その手の届く範囲から始めることである。お互いに相手を必要とし、隣人が互いに思いをこめて、憎しみ、争いを究明して「愛があるか」を確認する。「愛されるために愛するか」「愛したから愛されるか」か事によつては意味は違ってくる。

人をゆるすにも順序がある。相手が謝罪したからゆるす、謝罪しないからゆるさない。これは復讐に対する復讐の原理につながる。復讐は神の仕事である。それゆえ、復讐は神に委ねる。復讐の悪循環を打ち破り、和解への道を開くことである。

「なぜ正しい人が苦しむのか」というヨブの嘆きの叫びに対して神は何一つ語りはしない。多くの例をあげて、自然の中に表れる神の英知と力を述べるだけである。

私たちはどうであらうか。聞く耳はあるのか。たとえあつても神の意図すること理解できるであらうか。理解するためには、私たちは良心の声を日々養っていないければならない。良心とは神が人間の心に宿り、人間を正しく導き考えさせる源である。善悪の選択もここに起因する。よつて、平和の原点もここにある。(戸畑教会 信徒)

前高松教区長
ヨゼフ深堀敏司教帰天

9月27日 15時24分、腎臓ガンのため熊本のイエズスの聖心ホスピス(シヨファイユの幼きイエズス修道会)で帰天。享年84歳。福岡教区報初代編集長

ちょっと
一息

ママまでがボクを裏切る注射針
もう卒寿まだ開けてない玉手箱

坂牧 春妙
深堀 正平

参加者募集中 神の前で生と死を考える集い

◆ 11月2日(月) 夕食18:00～3日(火)
指導: S r. 高木慶子 / F r. 来住英俊
会費: 10,000円 (一泊三食・指導料・資料)

カトリック福岡黙想の家

聖堂/洋個室(洗面トイレ付)/冷暖房/浴室シャワー室/障害者用トイレ/エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

PRAYER GROVE
MUNAKATA

ミサ用ワイン



ヴィノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5

トレードマークの長髪スタイルに、いつものギターを抱え、普段の穏やかな表情にバツと笑顔を広げながら「F Y C Cは魔法、これはスゴ



近頃の若いモンは

—青年による青年事情通信—

楽

『参加者一人ひとりが笑顔になつていく日々、来年も絶対参加したいという言葉、そして準備期間を含めた多くの人の支え』を全身に受け、これは神さまの力、魔法だと言いつつ、

『参加者一人ひとりが笑顔になつていく日々、来年も絶対参加したいという言葉、そして準備期間を含めた多くの人の支え』を全身に受け、これは神さまの力、魔法だと言いつつ、

『参加者一人ひとりが笑顔になつていく日々、来年も絶対参加したいという言葉、そして準備期間を含めた多くの人の支え』を全身に受け、これは神さまの力、魔法だと言いつつ、

自分自身の中高校生時代は教会を離れ、バスや音楽活動

自分自身の中高校生時代は教会を離れ、バスや音楽活動

自分自身の中高校生時代は教会を離れ、バスや音楽活動

自分自身の中高校生時代は教会を離れ、バスや音楽活動



第6回宣教の在り方を考える集い「分かち合う生き方への招き」

7月20日、「第6回宣教の在り方を考える集い」がカトリック大名町教会で開催された。テーマは「分かち合う生き方への招き」。

7月20日、「第6回宣教の在り方を考える集い」がカトリック大名町教会で開催された。テーマは「分かち合う生き方への招き」。

昨年の列福者188人の中で、殉教者27人を数える熊本県では、列福式以来キリシタン史に県民の関心が高まっているが、この程、熊本県内の学識経験者や研究者を集めた



熊本キリシタン史研究会が発足

「熊本キリシタン史研究会」(今村克彦会長)が会員28人に発足、事務局を島崎教会(主任司祭ダニエル・マルケツト)内に置き、マルケツト神父も役員に、又、福岡教区の宮原良治司教も名誉顧問に就任、キリシタン研究を通して

「熊本キリシタン史研究会」(今村克彦会長)が会員28人に発足、事務局を島崎教会(主任司祭ダニエル・マルケツト)内に置き、マルケツト神父も役員に、又、福岡教区の宮原良治司教も名誉顧問に就任、キリシタン研究を通して

「熊本キリシタン史研究会」(今村克彦会長)が会員28人に発足、事務局を島崎教会(主任司祭ダニエル・マルケツト)内に置き、マルケツト神父も役員に、又、福岡教区の宮原良治司教も名誉顧問に就任、キリシタン研究を通して

「熊本キリシタン史研究会」(今村克彦会長)が会員28人に発足、事務局を島崎教会(主任司祭ダニエル・マルケツト)内に置き、マルケツト神父も役員に、又、福岡教区の宮原良治司教も名誉顧問に就任、キリシタン研究を通して



司教、宣教師の家族を訪問

宮原良治司教は8月下旬、イタリアに聖ザベリオ宣教会、ミラノ外国宣教会の司祭たちの家族を訪問する旅をした。休暇で一足先にイタリアに帰国していた聖ザベリオ宣教会のレナト神父(武蔵ヶ丘教会主任)の手はずで、

宮原良治司教は8月下旬、イタリアに聖ザベリオ宣教会、ミラノ外国宣教会の司祭たちの家族を訪問する旅をした。休暇で一足先にイタリアに帰国していた聖ザベリオ宣教会のレナト神父(武蔵ヶ丘教会主任)の手はずで、

元サンズルピス大神学院の院長を経て、現在、長崎純心大学教授である山内清海神父の著書「永井隆博士」の中から、「原爆投下は神の摂理である」などの問題点にあえて焦点をあてたもの。カトリック司祭の立場から永井隆の著作などを考察的に確に答えている。



永井隆博士の思想を語る 永井隆博士生誕百年の記念講演会録 山内清海 著

永井隆博士の思想を語る 永井隆博士生誕百年の記念講演会録 山内清海 著

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリヤ 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール
FUKUOKA
キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時~PM 5時40分
日・祝日/AM 11時~PM 4時(水曜日定休日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: http://www.pauline.or.jp

み国が 来ますように！

カトリック教会のカテキズム

日時：2009年10月25日（日）15：00
場所：カトリック大名町教会
講師：櫻井尚明神父（大名町教会主任）
資料：カトリック教会のカテキズム
次回：10月25日（日）15：00

2009 年度北九州地区聖書講座

メインテーマ：いただきます

～神のことばを食べる～

日時：10月11日（日）14時～16時半
場所：カトリック戸畑教会
講師：森山信三神父（西新教会主任）
主催：北九州地区信徒協聖書部会／
教区聖書委員会

聖書週間特別講演会

テーマ：聖書とは？

講師：雨宮慧神父（東京教区司祭）

福岡会場

日時：11月14日（土）19：00～21：00

場所：カトリック大名町教会

北九州会場

日時：11月15日（日）14：00～16：00

場所：カトリック小倉教会

主催：福岡教区聖書委員会

青年 召命黙想会 聖パウロ修道会

テーマ：わたしについて 来なさい！

日時：2009年10月17日（土）13時から

18日（日）13時まで

場所：聖パウロ修道会・若葉修道院

（東京都新宿区若葉1-5）

対象：自分の生涯の道を探している18～35歳
までの独身男性

参加費：3000円

問合せ先：☎03-3351-5257（Br. 高木進）

E-mail:ssp-voc@sanpaolo.or.jp

聖霊による刷新九州地区集会

日時：10月10日16時～12日（月）15時

会場：福岡黙想の家（宗像）

指導：マッケイ神父（鳥栖教会主任）

参加費：15000円

問合せ先：090-8664-3168（中本）／093-671-2219

日本カトリック難民移住移動者委員会

◆長崎教会管区 外国人信徒セミナー

日程：2009年11月23日（月）

9時30分～16時30分ころ

場所：カトリック大名町教会

参加費：無料

メインテーマ：

Sharing Cultures in Christ

～through songs and dancing～

キリストのうちに分かち合ひましょう

～歌と踊りを通して～

申込み締切：11月8日（日）

申込先：美野島司牧センター（岩本光弘）

Fax:092-431-5709

問合せ先：☎0973-22-3350（日田教会 Fr.川口）

福岡教区広報室アドレス

E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

案内板

会合と催し

10月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 10月

◇3日（土）福岡チエナクルム
◇10日（土）～12日（月）聖霊刷新・九州地区集会
◇19日（月）～23日（金）福岡教区・邦人司祭黙想会
◇24日（土）～25日（日）福岡雙葉学園職員研修・黙想会
◇29日（木）～31日（土）防府カトリック教会 黙想会
◇31日（土）～11/1（日）A.P.ジャパン 集会
11月
◇2日（月）～3日（火）神の前で生と死を考える集い
《S r. 高木慶子／F r. 来住英俊》
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 ㊟32・3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/fmokusso/index.htm

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ：聖パウロについて

レクツィオ ディヴィーナ

・日時：10月8日（木）10時～15時半

・内容：聖パウロの書簡 2

指導：フランコ・ソットコロノラ神父（真命山院長）

ダニエレ サルツィ・サルトリ神父

園田善昭神父／Sr. マリア デ・ジョルジ

問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター

☎0968・85・3100 ㊟0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦

1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カトリックでのゆるしの秘跡

日時：10月17日、11月7日 第1・第3土曜日10時～12時

場所：カトリック大名町教会小聖堂

※基本的に第1・第3土曜日。変更の場合もあります。

福岡教区納骨堂委員会

◆和田墓地清掃日

10月25日 9時～

◆死者のためのミサ

11月8日 14時

※和田墓地は8月・11月を

除いて第2日曜日12時から

15時まで納骨堂開放し

ている。

修の集い
【日時】10月18日（日）14時から
【場所】福岡黙想の家カトリック案内所（テーマ）人間存在と祈り（お話し）小宮豊氏（精神神経科医師）／来住英俊神父（カトリック福岡黙想の家院長）（参加費）会場内自由献金（コーヒートとお菓子つき）（問合せ先）☎0940・33・2731 吉永
【美野島司牧センター】ホームレス支援のための毎週火曜日10時半から炊き出し等への協力をお願いします。（問合せ先）☎092・431・1419 コース・マルセル神父

福岡教区納骨堂委員会

◆和田墓地清掃日

10月25日 9時～

◆死者のためのミサ

11月8日 14時

※和田墓地は8月・11月を

除いて第2日曜日12時から

15時まで納骨堂開放し

ている。

修の集い
【日時】11月29日（日）14時から
【場所】福岡黙想の家カトリック案内所（テーマ）人間存在と祈り（お話し）小宮豊氏（精神神経科医師）／来住英俊神父（カトリック福岡黙想の家院長）（参加費）会場内自由献金（コーヒートとお菓子つき）（問合せ先）☎0940・33・2731 吉永
【美野島司牧センター】ホームレス支援のための毎週火曜日10時半から炊き出し等への協力をお願いします。（問合せ先）☎092・431・1419 コース・マルセル神父

福岡教区納骨堂委員会

◆和田墓地清掃日

10月25日 9時～

◆死者のためのミサ

11月8日 14時

※和田墓地は8月・11月を

除いて第2日曜日12時から

15時まで納骨堂開放し

ている。

修の集い
【日時】10月3日（土）10時～12時（場所）佐賀カトリック会館（内容）ミサと祈り（次回11月7日（土）毎月第1土曜日。どうぞ参加下さい。（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武
【熊本地区召命を共に祈る会】（日時）10月15日（木）11時（場所）カトリック健康教会（内容）ロザリオと話し合い（問合せ先）健康教会 ☎096・

福岡教区納骨堂委員会

◆和田墓地清掃日

10月25日 9時～

◆死者のためのミサ

11月8日 14時

※和田墓地は8月・11月を

除いて第2日曜日12時から

15時まで納骨堂開放し

ている。

修の集い
【日時】10月3日（土）10時～12時（場所）佐賀カトリック会館（内容）ミサと祈り（次回11月7日（土）毎月第1土曜日。どうぞ参加下さい。（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武
【熊本地区召命を共に祈る会】（日時）10月15日（木）11時（場所）カトリック健康教会（内容）ロザリオと話し合い（問合せ先）健康教会 ☎096・

福岡教区納骨堂委員会

◆和田墓地清掃日

10月25日 9時～

◆死者のためのミサ

11月8日 14時

※和田墓地は8月・11月を

除いて第2日曜日12時から

15時まで納骨堂開放し

ている。

修の集い
【日時】10月3日（土）10時～12時（場所）佐賀カトリック会館（内容）ミサと祈り（次回11月7日（土）毎月第1土曜日。どうぞ参加下さい。（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武
【熊本地区召命を共に祈る会】（日時）10月15日（木）11時（場所）カトリック健康教会（内容）ロザリオと話し合い（問合せ先）健康教会 ☎096・

福岡教区納骨堂委員会

◆和田墓地清掃日

10月25日 9時～

◆死者のためのミサ

11月8日 14時

※和田墓地は8月・11月を

除いて第2日曜日12時から

15時まで納骨堂開放し

ている。

4日（日）年間第27主日／若松教会堅信式
5日（月）福岡地区司祭集会（箱崎教会11時）
7日（水）ロザリオの聖母
↑J. ノーリス〔2007年八代教会〕
8日（木）召命祈願ミサ（大神学院19時半）
常任司教委員会
特別臨時司教委員会
9日（金）↑K. オマホニ〔2003年荒尾教会〕
↑E. ハトリック〔2007年笹丘教会〕
10日（土）年間第28主日／湯川教会堅信式
11日（日）体育の日
12日（月）日力連理事会（広島～15日）
↑フランソワ徳山登〔2000年門司港教会〕
13日（火）長崎カトリック神学院体験入学
16日（金）年間第29主日／氷巻教会堅信式
17日（土）世界宣教の日（献金）／島崎教会聖テレジア祭
18日（日）大楠教会バザー
十字架の聖パウロ
19日（月）教区邦人司祭黙想会（黙想の家～23日）
25日（日）年間第30主日／筑後地区聖体大会（今村）
南粕屋教会・西新教会・高宮教会バザー
26日（月）難民移住移動者委員会全国リーダー研修会
27日（火）↑H. キニユ〔2004年天神町教会〕
28日（水）聖シモン・聖ユダ使徒
難民移住移動者委員会全国リーダー研修会・ミサ
30日（金）八代白百合学園創立100周年ミサ

11月
1日（日）諸聖人の祭日／小郡教会堅信式
2日（月）死者の日
各カトリック幼稚園願書受付
3日（火）召命の集い（カトリック神学院福岡キャンパス）
4日（水）教会行政法制委員会
※司祭の命日は2000年以降からお載せしています。

福岡

福岡祈りの会

【日時】毎週月曜11時から12時30分（場所）大名町教会1階（内容）賛美と感謝の祈り・聖書の分かちあい（代表）Br 床嶋（問合せ）☎092・521・2503 蓮尾

■在世フランススコ会集会

【日時】10月18日（日）14時から（場所）高宮フランススコ会修道院在世会集会所（内容）アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習（指導）戸村悦夫神父（問合せ先）☎092・843・5831 岩崎

■第6回信仰と祈りの養成研修の集い

【日時】10月18日（日）14時から（場所）福岡黙想の家カトリック案内所（テーマ）人間存在と祈り（お話し）小宮豊氏（精神神経科医師）／来住英俊神父（カトリック福岡黙想の家院長）（参加費）会場内自由献金（コーヒートとお菓子つき）（問合せ先）☎0940・33・2731 吉永

福岡教区納骨堂委員会

◆和田墓地清掃日

10月25日 9時～

◆死者のためのミサ

11月8日 14時

※和田墓地は8月・11月を

除いて第2日曜日12時から

15時まで納骨堂開放し

ている。

修の集い
【日時】11月29日（日）14時から
【場所】福岡黙想の家カトリック案内所（テーマ）人間存在と祈り（お話し）小宮豊氏（精神神経科医師）／来住英俊神父（カトリック福岡黙想の家院長）（参加費）会場内自由献金（コーヒートとお菓子つき）（問合せ先）☎0940・33・2731 吉永
【美野島司牧センター】ホームレス支援のための毎週火曜日10時半から炊き出し等への協力をお願いします。（問合せ先）☎092・431・1419 コース・マルセル神父

福岡教区納骨堂委員会

◆和田墓地清掃日

10月25日 9時～

◆死者のためのミサ

11月8日 14時

※和田墓地は8月・11月を

除いて第2日曜日12時から

15時まで納骨堂開放し

ている。

修の集い
【日時】10月3日（土）10時～12時（場所）佐賀カトリック会館（内容）ミサと祈り（次回11月7日（土）毎月第1土曜日。どうぞ参加下さい。（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武
【熊本地区召命を共に祈る会】（日時）10月15日（木）11時（場所）カトリック健康教会（内容）ロザリオと話し合い（問合せ先）健康教会 ☎096・

福岡教区納骨堂委員会

◆和田墓地清掃日

10月25日 9時～

◆死者のためのミサ

11月8日 14時

※和田墓地は8月・11月を

除いて第2日曜日12時から

15時まで納骨堂開放し

ている。

修の集い
【日時】10月3日（土）10時～12時（場所）佐賀カトリック会館（内容）ミサと祈り（次回11月7日（土）毎月第1土曜日。どうぞ参加下さい。（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武
【熊本地区召命を共に祈る会】（日時）10月15日（木）11時（場所）カトリック健康教会（内容）ロザリオと話し合い（問合せ先）健康教会 ☎096・

福岡教区納骨堂委員会

◆和田墓地清掃日

10月25日 9時～

◆死者のためのミサ

11月8日 14時

※和田墓地は8月・11月を

除いて第2日曜日12時から

15時まで納骨堂開放し

ている。

修の集い
【日時】10月3日（土）10時～12時（場所）佐賀カトリック会館（内容）ミサと祈り（次回11月7日（土）毎月第1土曜日。どうぞ参加下さい。（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武
【熊本地区召命を共に祈る会】（日時）10月15日（木）11時（場所）カトリック健康教会（内容）ロザリオと話し合い（問合せ先）健康教会 ☎096・

福岡教区納骨堂委員会

◆和田墓地清掃日

10月25日 9時～

◆死者のためのミサ

11月8日 14時

※和田墓地は8月・11月を

除いて第2日曜日12時から

15時まで納骨堂開放し

ている。

北九州

小倉祈りの集い

【日時】10月23日（金）13時から15時（場所）カトリック小倉教会信徒会館2階（指導）ガブリエル神父（御受難修道会）（内容）『みことばを味わう』賛美と感謝の祈り（連絡先）☎090・3985・5209 松田裕子

■北九州召命を共に祈る会

【日時】10月8日（木）14時から（場所）カトリック小倉教会（内容）ロザリオとミレーティング（司式・指導）伊東成晃神父（門司教会主任）（問合せ先）☎093・963・2359 江口

佐賀

佐賀祈りの集い

【日時】10月3日（土）10時～12時（場所）佐賀カトリック会館（内容）ミサと祈り（次回11月7日（土）毎月第1土曜日。どうぞ参加下さい。（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武

熊本

熊本地区召命を共に祈る会

【日時】10月15日（木）11時（場所）カトリック健康教会（内容）ロザリオと話し合い（問合せ先）健康教会 ☎096・

聖歌隊募集

目的：ザビエル聖堂完成に向けて

練習日時：10月17日（土）

毎月第3土曜日

13：00～16：00

練習場：福岡黙想の家入口の



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 人
カトリック福岡司教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

11月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】創られたものへの配慮
【宣教】神の名が平和をもたらすこと
【日本の教会】死者のために祈る

「イエスにお目にかかりたいのです」

(ヨハネ12・21)

2009年
教区司教黙
想会) 開催

宗像の福岡黙想の家(御受難会)で10月19日から23日まで開催された福岡教区の邦人司教黙想会は33人の司教が参加して行われた。カルメル会の中山博道神父の霊的講話、22日には久留米の聖マリア病院の協力で希望者の健康診断も行われ、心身ともに新たにされ各小教区へ赴いていった。



今回の講師を務められた中山博道神父(カルメル修道)

エリヤの時代すなわち国家ぐるみで神に背を向けた時代に

似ている。それに対抗したエリヤは、迫害を受けるが、「静かにささやく声」(列王記上19・12)を聞いて神と出会う。すなわち、現代においても神の声、そのメッセージは、声高にではなく、聴こうとする者のみに静かに語られるのである。司教は、仕事に振り回されたりあるいは、埋没することなく時にはじっくりと時間をかけてイエスを見つめ、キリストのみ顔を観想する必要性があると語った。また、聖書は、いわゆるバビロン捕囚期に多くの重要な書物が成立するが、神や神殿を喪失したこの時期も現代と重なるところがある。現代、私たちはこれまで築いてきたシステムなどが崩壊していく体験をしているが、捕囚期も同様であった。闇や、深淵そして混

死について

死者の月

キリスト教は、死を前にした人が穏やかに、できることなら喜びをもってそれに向き合うことができるように助けようとする。

「アダムによってすべての人が死ぬことになった」(Iコリ15・22)とあるように、神は人を死に定められた者としては創造されませんでした。人祖の罪の結果、人は死に支配される者となりました。こうして死は人にとって忌むべきもの、できることなら避けたいものとなってしまったのです。ところで福音書には死を前にして苦しむイエスの姿があります。十字架につけられたイエスの姿は実際に苦しむ姿です。だからといってイエスは本意に十字架上で亡くなったわけではありません。その姿が真に示すのは、「多くの人の身代金として自分の命を捧げるため」(マルコ10・45)にこの世に来られたイエス・キリストが神の愛を多くの人々に伝え、かれらを神の方に向かわせることに最後まで忠実であったということです。

またイエス・キリストは十字架上で殺されたままではなく、三日後に復活して「死者の中から最初に生まれた者」(コロ1・18)となりました。つまり、人間的な死を超える新しい命に生きる道を示してください。そして自分を信じ従っている者を同じような命へ招いてくださっているのです。このようにイエス・キリストによって、人の死は「滅びではなく、新たないのちへの門」となり、キリスト教は人の死を肯定的に捉えることができます。

沌中で神は語り始める。そのような様相の中でみ言葉を聴くとき、自分が開かれ、変えられていった体験があった。現代もいろいろな意味で困難を伴う時代であるが、時代を見据えて創造的に生きていくことの大切さを語った。司教は、どのような状況においてもまず、イエスとの交わりを深めることを再認識させた。

キリスト教講座リーダー研修会開催

信 仰 教 育
委 員 会



第二回キリスト教講座リーダー養成の修了者

かり、フォローアップ研修が必要ではないかとの気づきが今回の企画に繋がった。その中で今回の受講者は、司教3人、助祭1人、信徒19人、2日目は宮原司教も参加、計24人がこの研修に取り組んだ。

この「キリスト教講座」は、1975年に聖コロバン公司司牧委員会(担当グリフィン神父)によって開発され、熊本地区では、すでに20数年前から信徒による求道者養成のプログラムとして実践されている。同時に養成者となる信徒のリーダー養成も行われてきた。

9月の連休中の20日(日)から22日(火)まで熊本の高森町にある「ペンション根子岳山想」で、福岡教区信仰教育委員会(担当青木悟健軍教会主任神父)主催の「第二回キリスト教講座リーダー研修会」が行われた。

2006年から2007年に宗像の黙想の家で行われた第一回目の研修会に参加したメンバーは、その後すぐに、それぞれの教会で講座を開講してきている。このメンバーがそれぞれの教会で講座を開く中で、様々な問題にぶつ

カトリック学校の窓

ミッシェンスクールが他高校と一番違うのは、「祈り」でしょう。朝に夕に、行事や公の式で、あるいは屋敷の前にも歌うことで必ず祈ります。幼稚園児が小さな手を合せて先生の後に続けて可愛らしい祈りをささげる、教職員が一つの心で始める会議で祈る、のはとても大切なことです。おそらく「祈る」ことを知らなくても人

は祈っているとは思うのですが、学校生活で教えられていくうちに、確かな祈りの味わいを体験的に知ることができません。自分のための祈りから、次第に友人や教師、家庭に広がり、飢餓に苦しむ子ども達や、災害に苦しむ人のため、病気の方や、高齢者といった、出会ったことも顔も知らない誰かのために祈ることを覚えていきます。幸せを願い、感謝を表すこと、また「誰か」を思い起こす作業は、深い思いやりの心であり、愛することだと思えます。校内で聖歌

が聞こえてくると楽しくなります。生徒たちが思わず聖歌を口ずさんでしまう、これは学校に慣れたこと目の目安かもしれません。歌いやすいメロディーは生徒たちの心を惹きつけ、宗教の授業のはじめに歌うことが、より楽しくなります。11月は「死者のために」祈りますが、それは亡くなった方にご挨拶するようなものでしょう。祈りで互いが近く感じられれば、大変有り難いことです。八代白百合学園高等学校 シスター・谷口 貞女

3日間の日程の流れは、自己紹介・問題提起の検討・オカロー神父(キリスト教講座九州地区責任者)小郡教会主任)の講座・三組のメンバーによる実際の講座・グリフィン講座の目標の確認などがプログラムされ、宮原司教主式の派遣ミサの後、一人ひとりに今回の修了証が主催者の青木神父から手渡された。

講座の実演に参加したメンバーは、司教、助祭、信徒の壁を取り去り、一人の人として分かち合う体験、また抱えている問題を皆で検討するなど、真剣にしかも和やかに取り組んでいた。オカロー神父の聖霊について、特に聖霊の恵みについての話は、リーダー自身の霊的成長のために力強い講話であった。

宮原司教は派遣ミサの中で「教会の真髄は福音宣教、これがなければ教会はない」講座は、ノンクリスチャン、クリスチャン、自分自身のため「時代に応じた新しい表現方法でやってください」と語り、参加者に大きな励ましを与えた。

このワークショップは、講座をうまくやる技術を学ぶというより、参加者自身の自己研鑽、つまり、自己を発見し

「キリストと本当に出会う体験」をすることである。実行委員会では今後、よりよい研修会が開催されるよう、開催時期、場所、宿泊施設、対象者など、今回の反省を踏まえ、内容も検討中である。最終日、参加者全員が福岡教区長、信仰育成委員会発行の修了証を手にした道に再派遣された。

熊本地区における「キリスト教講座リーダー養成」の導入には、当時の熊本地区信徒使徒職協議会司牧部を中心に、司牧に関して司教依存型の教会にあって、司祭の老齢化、司祭召命の減少という現実の中で受洗後の信徒の成長、また信徒自身の成熟のために必要なプログラムとして1996年ころから取り組みが始まっていた。

キリスト教講座の基本的な枠組みは、先ず「自分との出会い」で、自分への気づき、回心の呼びかけが中心になる。次いで「キリストとの出会い」は徹底したキリストの愛に導かれる。最後が「教会との出会い」で共同体が紹介され、受洗者への招きが自然な形で行われることになる。



死者の月に入った。西洋では古くから「Memento Mori」すなわち、「人間死すべき者であることを覚えよ」と言われて、死について考えることは大切なこととされた。しかし、日本では死は忌むべきもの、穢れと捉えられてきた面もあり、死についての感覚は大いに違っていると思われる▼動物は、死について考えない。人間は絶えず意味を問う。何故生きるのか、何故苦しむのか、そして何故死ぬのか。人間は物事の意味を問い、答えを求める▼「精神的苦悩は、他人に打ち明けることによって軽くなる。なぜであろうか。聞いてくれる相手の理解や愛情に触れて、励ましや慰めを受けるということもある。しかし、何よりも苦しみの感情を概念化し、言葉にすること、それが、苦悩と自己との間に距離を作るからではないだろうか」(神谷美恵子「生きがいについて」)。確かに概念化することによって、いままでぼんやりとしていたことが、明確になるといえることは納得がいく。言葉にすることによって苦しみや死と距離が出来るという発想はちよつと新鮮であった▼教会の中で、自分の悩みや苦しみについてフランクに語り合える場合は、どれほどあるのだろうか。教会は、今を生きている人々、困難な問題に直面している人々にとって、それに応える姿勢が求められると思うのである。死者の月、亡くなられた方々のために祈ると同時に、私たちの生そして死について語り合う時を持ちたいものである。M

福岡地区青年会に出会う

最近、あちこちで「福岡の青年は元気ですね」という声を聞くことがある。そこで設立3年目を迎えるという「福岡地区青年会（会長Ⅱ豊嶋仁さん）」の有志が集まってもらった。参加してくれた青年は社会人と学生の8人。青年会に関わって9年のベテランから地区青年会が設立してからの新メンバーもいる。彼らの間には経験の壁も、小教区の壁もない。地区青年会の設立にさかのぼること6年前、有志の会としてスタートした青年達の集まりはどのように歩んできたのか、関わりのきっかけやその魅力などを語ってもらった。



クミリーディング、あっちこっちミサ、九州青年キャンプそして、FYCCなどに参加し、そこで出会った人々との関りの線上です。でも、いろんな集いに参加しながら、だんだん自分の小教区の大切さにも気づきました。だからほとんどの青年が、自分の小教区では教会学校などにも関わっています。

みなさんの青年会との出会いはⅡ(WYD)ワールドユースデイ、(NWM) ネットワー



誰が議長をするか(7)

ここでの会議とは、連絡や実務の調整中心のものではなく、小教区の方針を変えるような大事な決定をする会議

た。今年7回目でした。

「有志の会」として歩む中で、困難だったことはいろいろありますが一つは指導者の不在でした。司祭かシスター、または教会のことを正しく教えてくださる相談役のような人が欲しいと思っていました。そんな霊的渴望が信仰養成係になり地区青年会の中に『ひつじ団』という霊的学びの会をつくりました。

「ひつじ団」はどんなことをしているのⅡロザリオの祈りや聖書を読んでの分かち合い。紹介していただいた神父様に講話をお願いしたり、典礼の勉強、黙想会もします。これだけの集まりの中から司祭召命が少ないという声がありますがⅡアウグスチノ会



編集室から

に入会した青年がいます。あえて司祭召命と問われると、何事も自分の将来を考えると「あこがれ」が大事だと思います。わたしはあこがれる教師に出会いましたから。

今回彼らが語ってくれたことは、現代の教会に対する問題提起を多く含んでおり、またそれにとどまらず、彼らが「教会」を自ら築いていることにある種の驚きと感銘を受けた。彼らの話からテーマをいくつか取り出すとするならば、第一のテーマは、「共同体」である。教会は神の民

神の家族と言われる。しかし、どれほどの小教区がお互い支え合い、生かし合う共同体になっているだろうか。彼らは言う。「ここに（地区青年会）集まってくる人は、みんなやさしい、会社で疲れてもここに居場所や安らぎあつて、ここに帰ってくる」とホットする。と。こんな教会、今どれほどだろうか。第二は「絆」である。彼らは言う「私たちは互いを絶対見捨てない」という信頼感で結ばれている」そう言い切った青年がいた。一

の訓練をすれば、正議長である司祭が発言するときだけ議事を裁くことは不可能ではないと思う。私は欧米流の会議文化をある程度知っているの、こういう提言を試みた。机上の論議と見えるかもしれない。しかし、重大な決定をしなければならぬ場合、純日本風のメリハリのない会議では意見を集約しにくいことは確かである。数人がしっかりとウハウウを持っていれば、欧米式の会議の良い点もある程度は取り入れることもできるのではないかと。

司祭が議長をすることのメリット、デメリットをどう考へるべきだろうか。私の知るアメリカ流の会議方式では、正議長の外に、仮議長を置く。正議長が自分の発言をするときだけ仮議長が進行を裁き、それが一しきり終われば、また元の議長に戻るのである。小教区の会議でも、やってやれなくもないのではないかと。信徒が会議全体を通して議長として流れをコントロールするのは難しくても、多少

般に教会の中でも人間関係は希薄になっていると思われるが、彼らの中では、このような互いの信頼の絆で結ばれている。さらに彼らの絆は小教区という小さな単位を簡単に飛び越えて、超教区さらに世界へとつながっている事にも驚きを感じる。第三は、養成である。どちらの小教区でも建物が老朽化し、築〇〇年、あるいは創立50周年とかで、しばしば建物改築新築を計画している声を聞く。勿論各家庭の金銭的負担も少なくないはずだ。しかし、人を育てるために沢山のお金を使うということはあまり聞かない。青年たちは自分たちの後継者を育てるためにも〇〇年前から、毎年中高生のためのキャンプを入念に計画し、実行してきた。このキャンプには部活に塾にと忙しいはずの中高生たちが、あつという間に募集定員を上回るほど申込をする。最後に「霊的な渴望」である。彼らは、特別の指導者もなく、自分たちで言葉や分かち合い、教会の歴史を学び、神学を学び、霊性を高め合ってきた。3年前から始まった「チューサー」(火曜日と木曜日の研究会)には、今でも10名以上の地区の若者が集まってくる。

とした社会に生きるわたしたちにとって、同じ信仰を持ち同じ方向に向かって歩んでいく存在がいるのはとても大切であり、また、心強いものです。日々の生活では、様々なことに振り回され、大切なものを失いそうになったり、心がぐちゃぐちゃになりそうです。しかしここに来れば、なぜか分からないが自然と笑顔になれるし、心が癒される気がしました。また、ここには、同じ考えをもつた皆さんの仲間がいるので、一緒に過ごし、話をし、悩み、歩むことがとても楽しく充実していました。その日々の中で、自分も成長させられたな、様々な方から学ばせてもらったなと思います。自分は一人ではないという原点をしっかりと教えられる場所でした。



富上幸恵さん

福岡地区青年会には私にとって第一の職場です。青年会には私のタレントをフルに使い神様の道具として働ける場所なのです。なのである意味神様は社長。オフィスは教会。私を必要としている所に派遣してくださいませし、お恵みをたくさんくださいます。働けば働くほど出会いがありお恵みに気付かせてくださいませ。

後日、参加してくれた青年から感想が送られてきた。3人の思いを紹介する。

葉真寺健臣さん

自分にとっては、信仰養成の場であり、成長の場であり、癒しの場でした。今の、混沌

ちょっと一息



カーナビが事故にかまわず行けという落ち葉一枚一枚辞世持っている 深堀正平

第一の職場なので本当に生活の中心になっています。好きでやっていることなので仕事休みの日曜祝日の予定がすべて埋まってしまっても逆に幸せを感じます。ちょっと疲れて休んでもみんな温かく見守って待っていてくださるので心にゆとりが持てます。ココがリアルな職場と違うところですね。

葉真寺綾乃さん

私にとって『福岡地区青年会』とは、出会いの場です。様々な体験と祈りを通して、仲間と出会い、教会と神さまに再会しました。たくさん笑い、涙、悩み、喜び、悲しみを共に分かち合える存在ができました。そして、その出会いを通して、人との関わり方、物の見方、考え方、選び方：生きるうえで大切な知恵をいただいています。生き方が大きく変わったと思います。私は、自分の楽しさばかりを追いかけてきました。今もそういうところは多いにありますが、それだけでは得られないものがあることを知り、神を介してつながっていく人とのきずな。私にとって一生大切にしていきたいものばかりです。

現在の福岡地区青年会会長は大名町教会の豊嶋仁さん。『この歴史を次の世代の青年にも繋いで行きたいです。』と彼は語っている。

■ひつじ団予定
*チューサー学習会Ⅱ
11月10日(火)

*黙想会Ⅱ
11月22日(日) 午後
*会場Ⅱ いずれもカテドラル

『待降節の黙想会』ご案内

- ① 12月12日(土)～13日(日) 《染野治雄神父指導》
 - ② 12月19日(土)～20日(日) 《来住英俊神父指導》
- 時間：①②共に、16時受付～翌日15時まで
会費：7500円（一泊三食代）

カトリック福岡黙想の家

聖堂/洋個室（洗面トイレ付）/冷暖房/浴室シャワー室/障害者用トイレ/エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
<http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm>



ミサ用ワイン



ヴィノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ (赤) (白)
ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀 互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

司祭シリーズ ⑦

「召命と神学生」



F.レナト神父

今年の5月3日、全小教区に配布された「司祭と修道者のための祈り」を、皆さん唱えたでしょう。でも、常に召命のために祈っている人は「一回だけでも召命者に出会えたら、なおさら熱心に祈っていきましょう」と希望し、考えたことはありませんか。

武蔵ヶ丘共同体の皆さんが体験してきたことを報告します。この数年私たちは司祭の道を歩いてきた大塚助祭を身近に見守りました。助祭叙階を神様に心から感謝し、3月20日12時間の聖体礼拝賛美式をしました。彼は、大神学校から帰る度に報告に来て、日曜日に共にミサを捧げ、特に彼の説教を聞いたことは、多くの信徒達にとつて助祭のデビューを見る初めての経験でした。その面々教区の多くの皆さんは、毎年司牧実習のために、神学生を迎える福岡市内の教会の信者をうらやましがっていました。

でもご存じのように、大塚助祭は大名町教会で一年間司祭を務めます。一回だけでもいいから、ぜひ自分の教会に誘ってみてください。

去年、天草で行われた熊本地区のサマーキャンプに二人の神学生、谷口さんと大塚さんと一人の修道女（シスター二田）も参加しました。子どもたちにとつてこの3人、つまり聖職者と一緒に生活し、殉教者のことを学び、同じ食卓を囲み、同じグラウンドで遊び、同じ祭壇で祈ったりしたことが、どのような講演会よりも召命の魅力、その喜びを伝えたいと思いませんか。なぜなら子どもたちは召命者に直接に触れ、肌で感じたからです。

今年、この場を借りて、神学生、司祭の召命を考えている青少年に呼びかけ、募集したいことがあります。1日、一緒に大神学校で過ごしてみませんか。ミサ、サッカー、分かち合い、とにかく一緒に。召命に関して、祈りと共に、出会い、触れあい、分かち合いは欠かせないものです。ことわざどおり「百聞は一見に如かず」。私たちの模範であり、よき牧者であるイエス様のアプローチでしよう。「来て、見なさい、そうすればわかる。」（ヨハネ1・39）

（武蔵ヶ丘教会主任司祭）

滞日外国人信徒の司牧のために
サントス・ホセ・リサル神父



福岡教区内の特に外国人信徒の司牧のために、神言修道会のサントス神父が着

任した。浄水通の召命の家に居住しながら教区内の外国籍信徒の相談やゆるしの秘蹟など司牧中心の働きになる。

1948年11月19日生れ。
1974年6月21日叙階。
TEL 092・522・2311

世界難民移住移動者の日に
インターナショナルミサ

行橋教会



9月27日「世界難民移住移動者の日」行橋教会に於いて、日本語、英語、タガログ語によるインターナショナルミサが行われた。行橋市近郊には企業実習生として来日し働くフィリピン青年たちが増え、4年ほど前から2ヶ月に1回、定期的に主日の午後3時から英語ミサが行われている。現在ではフィリピン青年たちのコミュニティが中心と

なり青年たちだけではなく、国際結婚をして以前から行橋近郊に住む外国籍の人々とも連絡を取り合い60人から90人の人々が集うようになってきた。3年ほど前からは、幼児洗礼や初聖体など秘跡の依頼や教会学校、教会行事への参加、また、主日のミサ後のコーヒータムでも教会共同体の中に自然な雰囲気のうちとけてきている。特に、この日のミサは多くの外国籍の人たちを意識した典礼が捧げられた。今年はフィリピン、マレーシア、アメリカなどから来日し行橋市近郊で働く人々が共に祈り、山元眞神父によつて3組のフィリピン籍の母親の家庭の子どもたちと1組の日本人家庭の子どもとの幼児洗礼式がミサの中で執り行われた。約30人のフィリピン青年たちがリードする英語での聖歌のプレゼントや受洗し

た子どもたちへ教会信者代表から記念品も贈られた。また新たに企業実習生として働くために来日してきた青年たちも教会共同体の皆さんに紹介された。教会に集う事が言葉も習慣も違う外国籍の方たちの癒しであり、違う企業や慣れない環境の中で生活する者同士の情報交換の場ともなっている。3年間の企業実習を終えて帰国する青年たちが教会やコミュニティとの繋がりを後輩たちに確実に引き継いできている。洗礼の恵みを受けた子どもたちのためにフィリピンママたちの手作り料理と、お菓子、ジュースなどが沢山持ち寄りられ、日本人のお父さんたちが作った子どもたちの顔写真入りのお祝いボードも飾られミサ後は楽しいパーティーとなった。受洗願いの用紙には一人の赤ちゃんと沢山の代親が名を連ねたものも一緒に提出されるなど、お国柄の違いも見られた。一人の子どもの父親は、

フィリピン人同士だけではなく日本の社会の人と自然な付き合いができることが子どもや、特に外国籍を持つ妻のためにはいいことなのだと思います。多くの人と接する場に出たがらない妻も教会にだけは行きたいと言っているので、できる限り連れてきたいと思えますと話した。難民となった方こそいかなかったけれど、移住移動して慣れない生活環境の中で生きる人々がともに集い、喜び、子どもたちを受け入れ洗礼をお祝いできたことは、ご家族だけではなく教会共同体としても素晴らしいお恵みだと思えます。また日本の教会独自の「教会籍」と言う考え方のない外国籍の方たちに、教会としてサポートできる何かの管理も必要だと改めて考えさせられました。

第5回マリアン・フェスティバル

熊本地区



それぞれの家庭を巡った聖母マリア像と共に

と、親交を深めることにある。1年間、それぞれの地区で聖母マリア像を各家庭に廻し、ロザリオの祈りが捧げられる。各地区を巡ったそのマリア像を、この日に持ち寄ることで各グループ間の出会いが行われる。

今年のプログラムは、可児夫妻の家から島崎カトリック教会まで、聖母マリア像を先頭に行列から始まった。

来賓演説者のデニー神父（ザベリオ会会員でインドネシアから来日）のユーモア溢れる話に、集まった聴衆は笑いに包まれた。

しかし、何よりもデニー神父が分かち合ってくれた話は、神父の両親がどれほど、子どもの頃から彼の信仰と聖母マリアへの信心に影響を与

☆マザー・テレサ 100の言葉 ヴォルフガング・バーダー 編 山本文子 訳

マザー・テレサ 100の言葉 女性の言葉、それは口よりも心から出てくる。それは満ちた愛、勇気ある、そしてひたむきな生涯を語ります。女子パウロ会発行 税込定価 1260円

☆沈黙の存在 エルジビエタ・アダミヤク著 田村和子、A・シユチエフラ訳

教会における女性の役割

総合建築業

- ・一般住宅（新築・改築工事）
- ・鉄骨工事
- ・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 森山工務店

ヨゼフ 森山新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号 ☎ (092) 811-7265

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

み国が 来ますように！

カトリック教会のカテキズム

日 時：2010年1月24日（日）15：00

場 所：カテドラル大名町教会

講 師：櫻井尚明神父（大名町教会主任）

資 料：カトリック教会のカテキズム

聖書週間特別講演会

テーマ：聖書とは？

講 師：雨宮慧神父（東京教区司祭）

福岡会場

日時：11月14日（土）19：00～21：00

場所：カトリック大名町教会

北九州会場

日時：11月15日（日）14：00～16：00

場所：カトリック小倉教会

主 催：福岡教区聖書委員会

レジオ・マリア福岡クリア 創立60周年記念ミサ

日 時：11月15日（日）14時

主 式：ドミニコ宮原良治司教

会 場：カテドラル大名町教会

*どなたでも参加できます。お待ちしています。

召命の集い

テーマ：

ふみ出そう はじめの一步

～イエスさまが呼んでるよ！～

日 時：2009年11月3日（火）9時半受付

場 所：日本カトリック神学院福岡キャンパス

*日本カトリック神学院になってから初めての召命の集いです。大勢の参加をお待ちします。

ウルトラとアガペの集い

日 時：11月29日（日）15時～18時

場 所：カテドラル大名町教会

内 容：ウルトラ／みことばの祭儀

司教講話／アガペ／親睦会

参加費：3000円

申込先：福岡教区クルシヨ事務局 徳永

FAX：093-371-2988

*各小教区宛てに申込用紙を送付していますので、できるだけまとめてFAXしてください。

日本カトリック難民移住移動者委員会

◆長崎教会管区 外国人信徒セミナー

日 程：2009年11月23日（月）

9時30分～16時30分ころ

場 所：カトリック大名町教会

参加費：無料

メインテーマ：

Sharing Cultures in Christ

～through songs and dancing～

キリストのうちに分かち合ひましょう

～歌と踊りを通して～

申込み締切：11月8日（日）

申込先：美野島司牧センター（岩本光弘）

Fax:092-431-5709

問合せ先：☎0973-22-3350（日田教会 Fr.川口）

福岡教区広報室アドレス

E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

10月はポカポカ陽気が続いたが、秋の気配をあまり感じないうちに11月を迎えました。先日は青年達に集まっていた。先き、貴重なお話を伺うことが出来た。互いの出会いを深め、彼らの姿勢に頭が下がる思いがしました。青年たちに感謝です。また、先月号から、1面のコラムをシスター今泉に代って、シスター谷口にお願ひしています。お二人のシスターに感謝とともに教育の現場でのご活躍をお祈り申し上げます。

編集後記

福岡黙想の家ご案内 11月

◇2日(月)～3日(火) 神の前で生と死を考える集い
◇4日(水) 福岡チェナクルム
◇5日(木)～7日(土) マッケイ神父様の黙想会
◇8日(日)～14日(土) サレジオ会黙想
◇14日(土)～15日(日) 山口・島根地区信徒養成研修会
◇16日(月)～22日(日) キリスト者のための内観黙想会
◇22日(日)～23日(月) 聖マリア在俗会黙想
◇25日(水)～26日(木) 北九州レジオ黙想会
◇27日(金)～29日(日) ゆふの会
◇28日(土) 読書会(ド・アルファの謎解き)
◇30日(月)～12/2日(水) 御受難修道会共同体の日
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 ㊟32・3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ：聖パウロについて／レクツィオディヴィーナ

・日 時：11月19日（木）10時～15時半

・内 容：聖パウロの逮捕(使徒言行録21：27)

指 導：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
園田善昭神父／Sr. マリア・デ・ジョルジ

問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター

☎0968・85・3100 ㊟0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：10月17日、11月7日 第1・第3土曜日10時～12時

場所：カトリック大名町教会小聖堂

*基本的に第1・第3土曜日。変更の場合もあります。

福岡祈りの会

〔日時〕毎週月曜11時から12時30分〔場所〕大名町教会1階〔内容〕賛美と感謝の祈り・聖書の分かちあい〔代表〕Br 床嶋〔問合せ〕☎092・521・2503 蓮尾

虹の会

〔日時〕11月14日（土）13時半から16時半〔場所〕カトリック大名町教会3階〔内容〕子どもを亡くした親の悲嘆の分かちあい〔参加費〕600円〔連絡先〕☎090・11162・6395 柴田須磨子

在世フランシスコ会集会

〔日時〕11月15日（日）14時から〔場所〕高宮フランシスコ修道院在世会集会所〔内容〕アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習〔指導〕戸村悦夫神父〔問合せ先〕☎09

美野島司牧センター

ホームレス支援のための毎週火曜日10時半から炊き出し等への協力をお願いします。〔問合せ先〕☎092・431・1419 M・コース神父

熊本地区召命を共に祈る会

〔日時〕11月19日（木）11時〔場所〕カトリック健康教会〔内容〕ロザリオと話し合い〔問合せ先〕健康教会☎096・368・2825 青木悟神父

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月29日（日）14時から〔場所〕福岡黙想の家カトリック案内所〔テーマ〕人間存在と祈り〔お話〕小宮豊氏（精神神経科医師）／来住英俊神父（カトリック福岡黙想の家院長）〔参加費〕会場内自由献金（コーヒートとお菓子つき）〔問合せ先〕☎0940・33・2731 吉永

紫苑 con 心のセミナー

〔日時〕11月29日（日）14時から〔場所〕福岡黙想の家カトリック案内所〔テーマ〕人間存在と祈り〔お話〕小宮豊氏（精神神経科医師）／来住英俊神父（カトリック福岡黙想の家院長）〔参加費〕会場内自由献金（コーヒートとお菓子つき）〔問合せ先〕☎0940・33・2731 吉永

北九州

〔日時〕11月27日（金）13時半から15時〔場所〕カトリック小倉教会信徒会館2階〔指導〕ガブリエル神父（御受難修道会）〔内容〕「みことばを味わう」賛美と感謝の祈り〔連絡先〕☎090・3985・5209 松田裕子

北九州召命を共に祈る会

〔日時〕11月12日（木）14時から〔場所〕カトリック北九州湯川納骨堂〔内容〕パリミツシヨンの司祭の為のごミサ（死者）〔司式・指導〕伊東成晃神父〔両司教会主任〕〔問合せ先〕☎093・963・2359 江口

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐